令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	社会福祉団体育成事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　福祉課		款	民生費	03
連絡先	889－4416		項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	社会福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	社会福祉協議会、民生委員連合会、沖縄県市町村総合事務組合災害弔慰金等負担金	住み慣れた地域で健康で安心した生活を送れるよう、社協をはじめ各福祉団体と協働で地域福祉を推進し「ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち」をめざします。

事業の実施内容

社会福祉協議会、民生委員連合会への補助金交付を行うことにより、福祉活動の協働・推進・支援を行いました。

●南風原町社会福祉協議会への助成　　119，540千円

（内訳）①運営補助金　　88，152千円
・職員の人件費、役務費、県社協負担金、通信運搬費、雑費、委託費となっています。

②支えあうまちづくり事業補助金　21，340千円
・主な活動実績として、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）を9人配置し、地域とともに積極的な関わりを行うことによって福祉課題を解決しました。相談支援の件数は訪問が429件、来所が101件、電話514件、その他が245件、合計で1，289件の延べ相談件数となりました。

③福祉総合相談事業補助金　　9，458千円
・町民の抱える心配ごとの解決を図るため、一般相談員を配置し適切な助言・援助を行うとともに法律相談、司法書士相談を実施。本年度の主な相談件数は生計に関する事2，065件、情緒問題に関する事92件、家族に関する事51件、となっており、その他と合計して延べ2，503件の相談を受け問題解決に取り組みました。

④ボランティアセンター運営事業　　90千円
・「福祉教育の推進」では福祉教育連絡会や町内教諭等福祉研修会の開催、福祉教育推進事業助成等を行いました。「ボランティア養成研修の充実」では、10代のボランティア研修会及び、手話ボランティア養成講座を開催しました。その他「ボランティアセンター基盤整備」ではボランティアの斡旋・活動支援等を行いました。

⑤社会福祉大会事業補助金　　500千円
・支えあい助け合い共にいきる地域の絆」をスローガンに、社協法人化50年記念となる「第7回南風原町社会福祉大会」が1月15日（木）に南風原町立中央公民館で開催され、会場には約200人が訪れました。式典では、南風原町への功労があり他の模範となる個人155人と16団体が表彰されました。また、後半にはブラインドサッカー琉球Agachiの代表を務める方を講師に迎え、「沖縄盲学校の先生になったきっかけ！ブラインドサッカーとの出会い」と題した記念講演が行われました。

●民生委員児童委員連合会補助金　　7，684千円
民生委員・児童委員の活動状況は、主な内容別相談としては日常的な支援が72件と最も多く、次いで健康・保健医療に関する事が46件、在宅福祉に関する事が45件、住居に関する事が32件となっています。分野別としては、高齢者に関する事が220件、子どもに関することが64件、障害者に関する事が34件、その他136件で合計454件の相談支援件数となっています。毎月1回の定例会を実施するほか各種研修会に参加しました。

●沖縄県市町村総合事務組合災害弔慰金等負担金　　80千円

事業の成果

「地域福祉の推進を図る中核的組織」である社会福祉協議会、地域住民・関係機関・団体及び社会福祉施設等との連携を担う民生委員連合会に補助を行う事により、福祉のまちづくりの協働・推進が図られ町民の福祉向上に貢献できました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	128,274	127,304	2,360	114	0	0	124,830

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	国民健康保険事業（国民健康保険特別会計）	予算科目	会計	国民健康保険特別会計	02
部　課	民生部　国保年金課		款		
連絡先	889－1798		項		
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち		目		

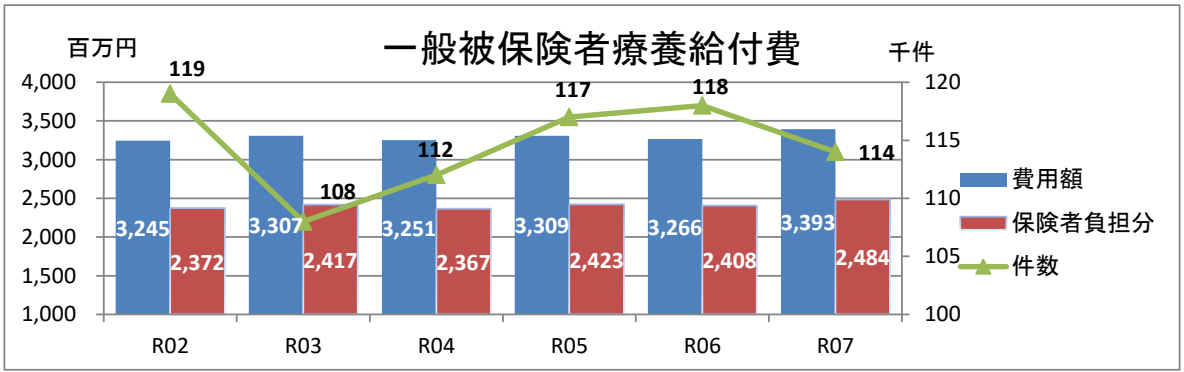
事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	国民健康保険の加入者（被保険者）が病気やケガ、出産等により医療費等がかかった場合に保険給付を行います。	病気やケガにかかる医療等に対して保険給付を行うことにより、健康の増進や生活の安定を図ります。

事業の実施内容

病気やケガ等により医療機関で治療や投薬を受けると、被保険者はかかった医療費の3割を自己負担します。（70歳以上は2割又は3割、未就学児は2割を自己負担します。）
残りの医療費は町の国保特別会計から支払われます。

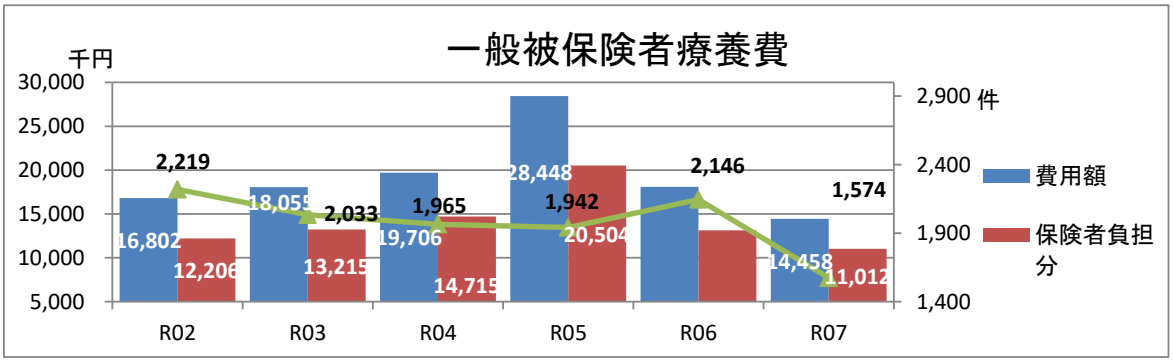
◆ 一般被保険者療養給付費　（2款1項1目）　（単位：千円）

件数	費用額	保険者負担分
114,289	3,392,860	2,484,368



◆一般被保険者療養費（2款1項3目）　（単位：千円）

件数	費用額	保険者負担分
1,574	14,458	11,012



◆一般被保険者高額療養費（2款2項1目）　（単位：千円）

件数	保険者負担分
6,073	451,404

◆一般被保険者高額介護合算療養費（2款2項3目）　（単位：千円）

件数	保険者負担分
15	359

◆出産育児一時金（2款4項1目）　（単位：千円）

件数	保険者負担分
34	16,338

◆葬祭費（2款5項1目）　（単位：千円）

件数	保険者負担分
48	960

次ページへ続く　→

事業の実施内容

◆傷病手当金（2款6項1目）

件数	保険者負担分
0	0

（単位：千円）

◆国民健康保険事業費納付金（3款）　1,189,140　千円

平成30年度に始まった国民健康保険の県単位化に伴い、県が市町村ごとに決定した国保事業費納付金を、南風原町の納付金として県へ納付しました。

◆国保特会に係る事務費等（1款、2款）

職員給与費等　106,694　千円
他、システム委託料等事務費　24,830　千円

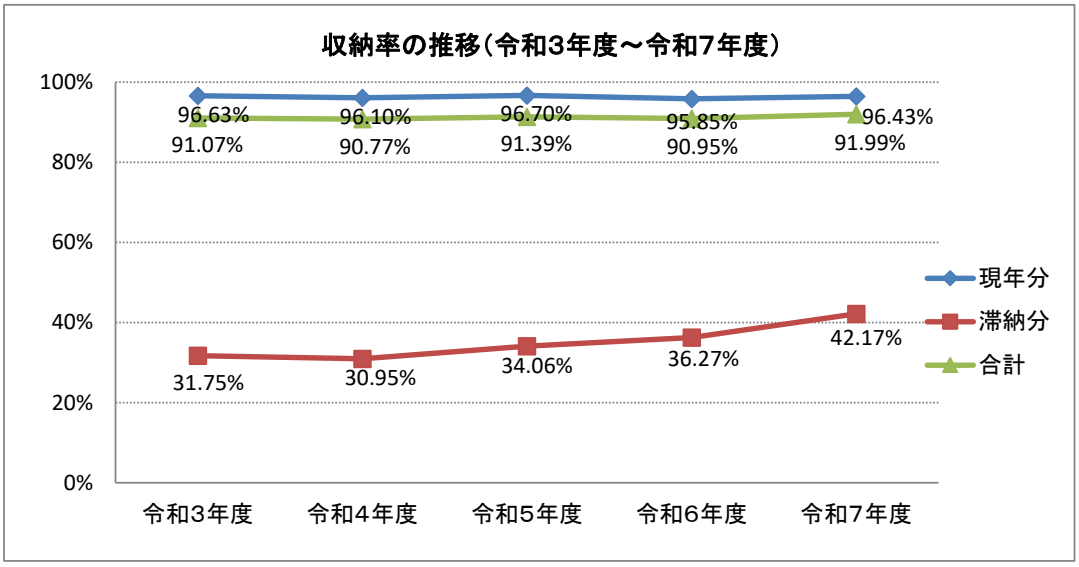
◆保険税収納率向上に係る経費　（1款2項2目）　15,617　千円

収納活動の円滑な実現が図られるよう納付指導員を4人採用し、納期内納付を推進するとともに滞納者等を対象に次のことを行いました。

(1)各地区に担当納付指導員を配置し、個別による納付相談の実施。
(2)電話による催促、文書の送付、呼び出し等による納税相談の実施。
(3)県主催等の研修会へ参加し職員の資質向上を図りました。
(4)滞納者の生活状況、資産、収入の調査を行い、滞納処分（債権差押え）による徴収の強化。
納付困難世帯への相談体制の強化、庁内関係部署との連携を強化し計画的に国保税の納付ができる環境づくりに努めました。

（収納率の推移）　単位（%）

年度	現年分	滞納分	合計
令和3年度	96.63	31.75	91.07
令和4年度	96.10	30.95	90.77
令和5年度	96.70	34.06	91.39
令和6年度	95.85	36.27	90.95
令和7年度	96.43	42.17	91.99



◆保健事業費　（6款）　56,669　千円

○特定健康診査等事業　（6款1項1目）

対象者は南風原町国民健康保険被保険者のうち、特定健康診査実施年度中に40歳から74歳となる方です。内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣病予防のための健診・保健指導を行い、自らの生活習慣における課題を認識して行動変容と自己管理を行うとともに、健康的な生活を維持することができるようサポートします。

特定健康診査等委託料　16,141千円　報酬・賃金・報償費等 23,840千円
その他　7,057千円

合計　47,038千円

次ページへ続く →

事業の実施内容

【健診項目】
1. 基本的な健診項目
身体測定（身長、体重、BMI、腹囲）、理学的検査（身体診察）、血圧測定、血液化学検査（中性脂肪、HDLコレステロール、LDLコレステロール）、肝機能検査（GOT、GPT、rーGTP）、血糖検査（空腹時または随時）、HbA1c検査、尿検査（尿糖、尿蛋白）、腎機能検査（血清クレアチニン）、血清尿酸検査

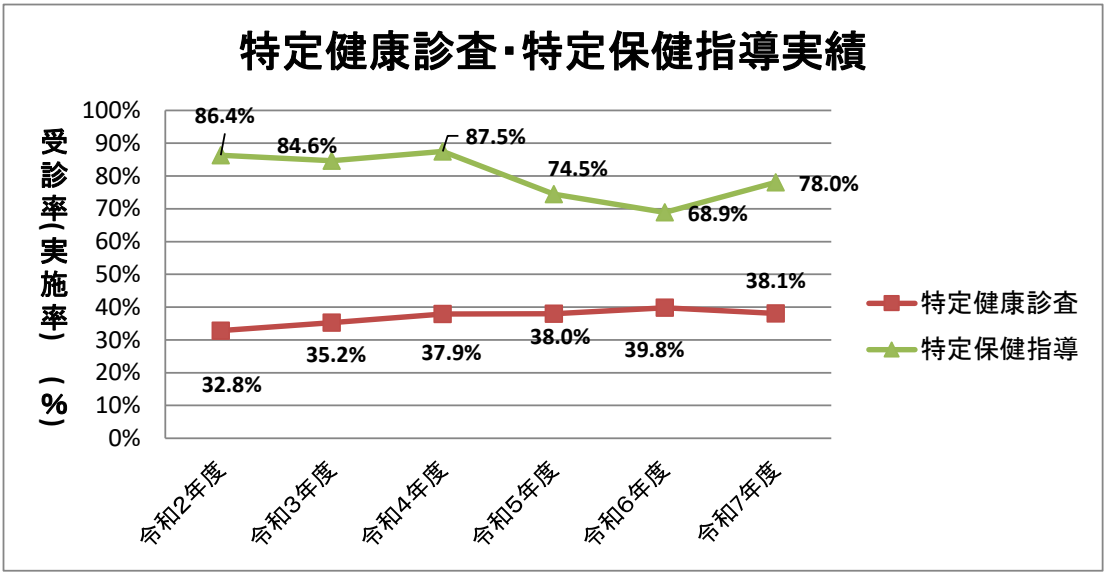
2. 詳細な検査の項目
心電図、眼底検査、貧血検査（赤血球数、血色素量[ヘモグロビン値]、ヘマトクリット値）のうち、一定の基準の下、医師が必要と判断したものを選択

3. 二次健診の項目
75g糖負荷検査、頸部エコー検査、血圧脈波検査（ABI、PWV）、微量アルブミン尿検査

特定健康診査・特定保健指導実績一覧表

項目 / 年度	特定健康診査			特定保健指導		
	対象者	受診者	受診率	対象者	実施者	実施率
R02	5,222	1,715	32.8%	337	291	86.4%
R03	5,228	1,842	35.2%	241	204	84.6%
R04	5,101	1,935	37.9%	256	224	87.5%
R05	5,013	1,906	38.0%	247	184	74.5%
R06	4,850	1,899	39.2%	228	175	76.8%
R07	4,662	1,776	38.1%	246	192	78.0%

※上記実績は法定報告によるものです。令和7年度は法定報告がまだの為、R8.7月末現在値となっています。



◆公債費　（8款）　一時借入金利子　　1,186　千円

◆諸支出金　（9款）　県支出金償還金等　　17,223　千円

事業の成果

〈給付に係る経費〉
被保険者への保険給付等を実施する事により、医療の普及、保健の向上、生活の安定を図り、健康の保持・増進に寄与しました。
〈保険税収納率向上に係る経費〉
厳しい社会情勢の中、納税者の国保制度に対する深い理解と関係各課等と連絡を密にした徴収の取り組み等を実施しています。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,406,508	4,375,800	5,940	3,153,651		6,951	1,209,258

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	高齢者医療対策費	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課		款	民生費	03
連絡先	889－1798		項	老人福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	高齢者医療対策費	02

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
医療保険加入者で75歳以上の人又は65歳以上の一定以上の障がいをお持ちの人。	後期高齢者医療制度の安定的運営を維持することを目的とします。

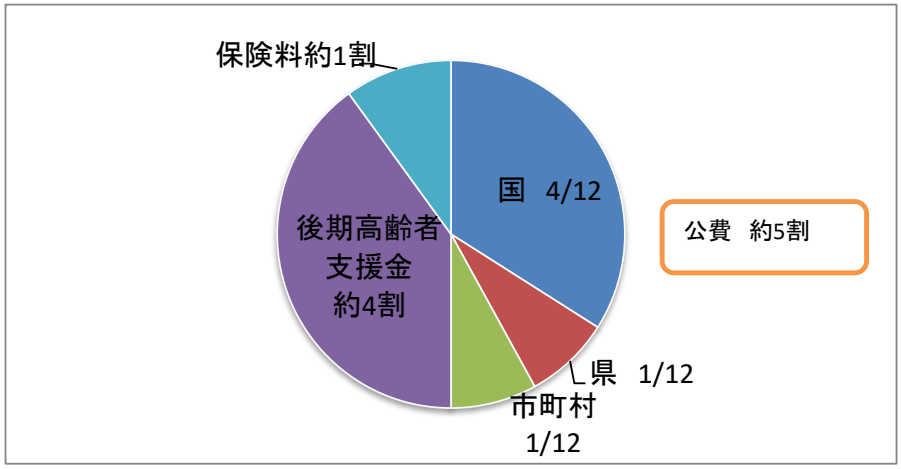
事業の実施内容

後期高齢者医療制度の安定的運営を目指して、保険者である沖縄県後期高齢者医療広域連合へ療養給付費のほか事務費、基盤安定（保険料軽減対策）などの負担金を支出しています。

◆ 後期高齢者医療制度に係る経費（決算額）

・会計年度任用職員報酬等（保健師、看護師）	7,533 千円
・消耗品費	70 千円
・子ども・子育て支援金制度に係るシステム改修委託料	2,857 千円
・公用車リース料	396 千円
・後期高齢者保険料保険基盤安定負担金繰出金	84,272 千円
・後期高齢者療養給付費負担金(現年度分)	335,008 千円
・後期高齢者医療広域連合負担金	32,044 千円
・後期高齢者特別会計へ事務費等繰出金	17,754 千円
・はり、きゅう、あん摩、マッサージ補助金	158 千円
合　計	480,092 千円

【参考　後期高齢者医療制度の財政の全体のイメージ】



事業の成果

これまでの医療費適正化事業に変わり、令和2年度より高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施が始まりました。保健師が健診データを分析し、看護師が保健指導・長寿健診受診勧奨を実施し、生活習慣病を重症化させないように努めることができました。後期高齢者の医療給付費・事務費等の費用の一部を負担することにより後期高齢者医療制度の安定的運営を維持することができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
480,370	480,092	2,860	63,204		10,719	403,309

令和7年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	住民健診(健康診査)事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課		款	衛生費	04
連絡先	889－7381		項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	成人保健対策費	05

事業の目的

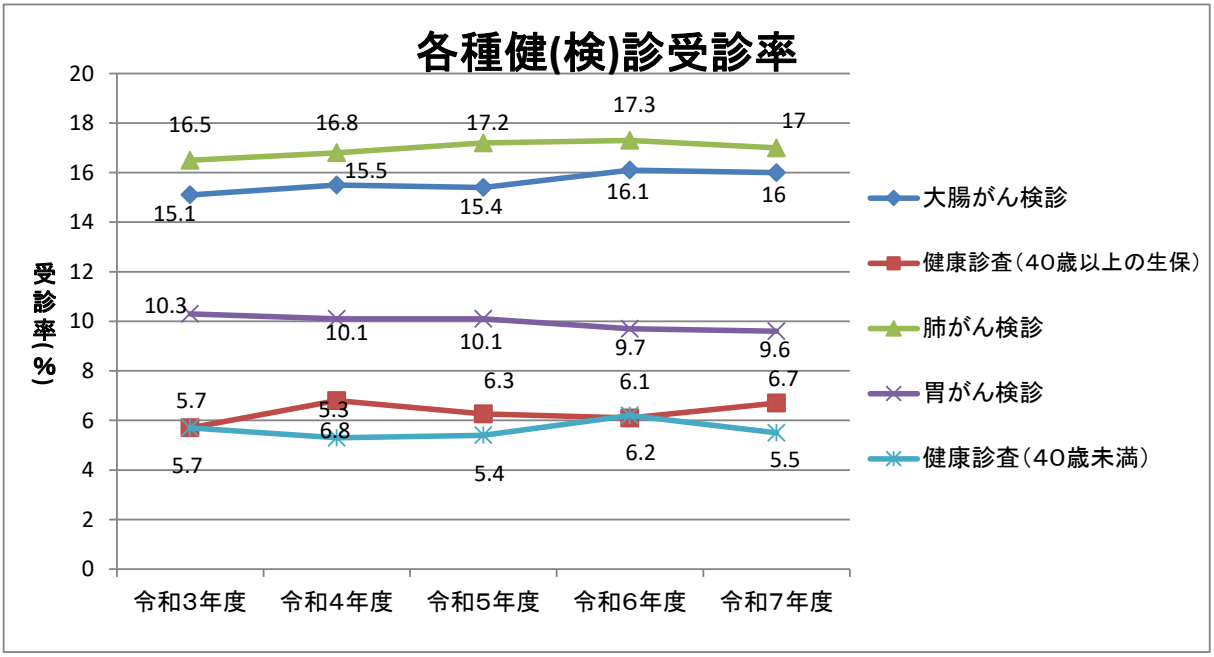
対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
40歳未満の方で、学校や職場等で健康診査を受ける機会がない方、及び40歳以上の生活保護受給者を対象に受診料を助成します。	受診料を助成し、経済的な面で受診しやすい環境を整えることで、町民の健康の保持と病気の早期発見、適切な医療の確保と、健康寿命の延伸を図ります。

事業の実施内容

40歳未満の方で、学校や職場などで健康診査を受ける機会がない方、及び40歳以上の生活保護受給者を対象に、住民健康診査(身長・体重・腹囲・尿検査・血液検査・医師の診察)を行います。その他、胃、肺、大腸がん検診の助成を行っています。

住民健診(健康診査)事業費

基本健診委託料(40歳未満・生保)	3,515 千円
胃がん検診委託料	7,467 千円
肺がん検診委託料	7,067 千円
大腸がん検診委託料	4,440 千円
その他、郵送代等	1,764 千円



※40歳未満健診の受診率は、対象者名簿により算出しています。
※40歳以上で生活保護の方の健診の受診率は、健康増進事業費補助金事業実績報告より算定しています。
※各種がん検診受診率は、医療機関実績報告によりRKKシステムにて算定しています。

事業の成果

各種健診(検診)を医療機関への委託により実施した結果、要注意者、要治療者等を早期に発見し、早期治療・事後指導に繋げることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	26,640	24,253		226			24,027

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

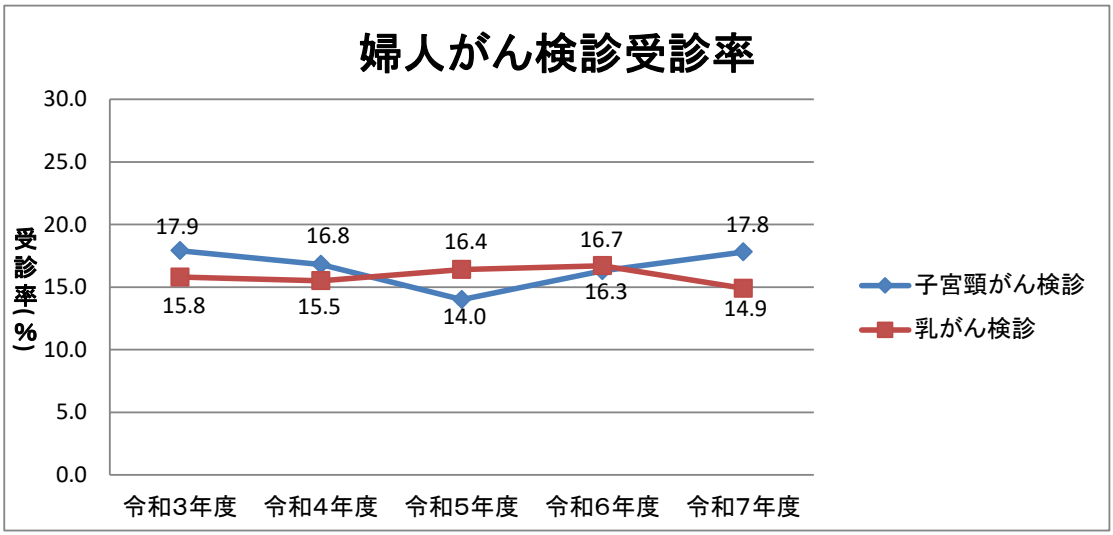
事業名	婦人がん検診事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課		款	衛生費	04
連絡先	889－7381		項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	成人保健対策費	05

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	職場等で婦人がん検診を受診する機会のない女性を対象としています。子宮がん検診は20歳以上、乳がん検診は40歳以上の受診料を助成します。	受診料を助成し経済的な面で受診しやすい環境を整えることにより、婦人がんの早期発見・早期治療に役立て、町民の健康の保持・増進を図ります。

事業の実施内容

○婦人がん検診事業費

婦人がん検診委託料	9,440 千円
婦人がん検診通知等（通信運搬費）	76 千円
その他	307 千円



※受診率＝医療機関実績報告によりRKKシステムにて算定しています。

○新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業

この事業は、がん検診の受診を促進し、がんの早期発見につなげ、がんによる死亡者の減少を図ることを目的として、以下の年齢の女性に対して、子宮頸がん及び乳がんに関する検診費用が無料となるクーポン券を送付し、受診促進を図ります。

クーポン対象年齢

【子宮頸がん検診無料クーポン券対象年齢】

年齢	生年月日
20歳	平成16年4月2日～平成17年4月1日

【乳がん検診無料クーポン券対象年齢】

年齢	生年月日
40歳	昭和59年4月2日～昭和60年4月1日

事業の成果

検診を受けることにより、受診者の「がん」に対する早期発見等の予防意識の高まりへ繋がりました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	12,200	9,823	75				9,748

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	後期高齢者医療事業	予算科目	会計	後期高齢者医療特別会計	09
部　課	民生部　国保年金課		款		
連絡先	889－1798		項		
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目		

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
75歳以上の人に対して、高齢者の心身の特性や生活実態などを踏まえた医療サービスを行います。	高齢期における医療の確保を図るため、共同連帯の理念等に基づき、適切な医療の給付等を行い、保健の向上及び高齢者の福祉の増進を図ります。

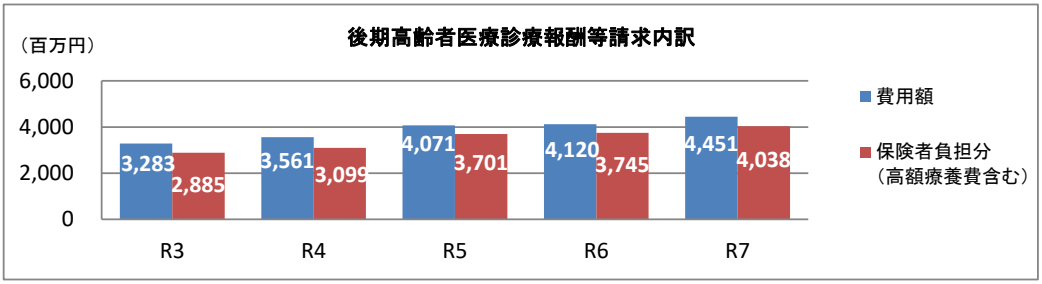
事業の実施内容

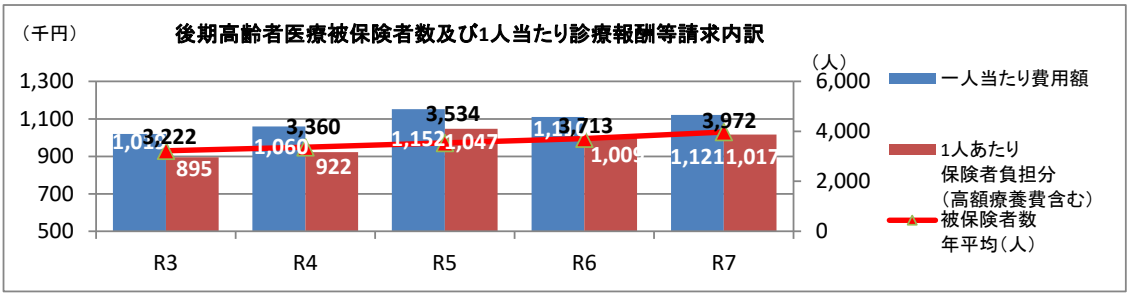
（1）対象者：75歳以上の方（一定の障害がある65歳以上の方）
（2）被保険者数：3,972人（令和7年度平均被保険者数）
（3）事業費（決算額）
・総務費（職員給与等）　18,413 千円
・後期高齢者医療広域連合納付金　519,823 千円
・諸支出金　622 千円

★主な事業内容
・被保険者の資格管理に関する申請及び届出の受付
・被保険者証及び資格証明書の引渡し・同返還の受付
・医療給付に関する申請及び届出の受付並びに証明書の引渡し
・保険料の徴収

【　保険料収納率　】　後期高齢者医療保険料収納率（%）

年度	現年度	滞繰分	計
令和3年度	99.05	27.46	98.32
令和4年度	99.17	74.76	99.14
令和5年度	99.68	79.19	99.62
令和6年度	99.50	31.88	99.34
令和7年度	99.60	50.52	99.37





事業の成果

沖縄県を単位とした広域連合が保険料の賦課及び医療給付を行い、高齢者医療財政基盤の安定化を図りました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	540,809	538,858				439,662	99,196

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	妊婦一般健康診査事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	衛生費	04
連絡先	889-4524		項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	保健衛生総務費	01

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
親子（母子）健康手帳の交付を受けた妊婦のうち、本町に住所を有する者	保険適用外である妊婦の健康診査を公費負担とすることで、経済的負担を軽減し、妊婦の健康の保持増進を図ります。

事業の実施内容

妊婦健康診査内容

	実施検査項目	望ましい健診時期	公費負担額
第１回目	基本的な健康診査、子宮頸がん検査（細胞診）、血液型（ABO/Rh）検査、不規則抗体検査、梅毒血清反応検査、B型肝炎抗原検査、C型肝炎抗体検査、グルコース（血糖）検査 貧血検査、超音波検査	妊娠初期	24,460円
第２回目	基本的な検査、超音波検査	妊娠２０週～２３週	8,970円
第３回目	基本的な健康診査、グルコース(血糖）検査 貧血検査、超音波検査	妊娠２４週～２８週	10,940円
第４回目	基本的な健康診査、貧血検査 超音波検査	妊娠２９週～３３週	10,830円
第５回目	基本的な健康診査、貧血検査、超音波検査、帯化培養（細菌培養）検査、GOT・GPT（肝機能）検査	妊娠３４週～出産	17,630円
第９－１回	基本的な健康診査	妊娠約１２週	5,490円
第９－２回	基本的な健康診査、超音波検査	妊娠約１６週	10,270円
第９－３回	基本的な健康診査	妊娠約２６週	5,490円
第９－４回	基本的な健康診査、超音波検査	妊娠約２８週	9,870円
第９－５回	基本的な健康診査	妊娠約３２週	5,490円
第９－６回	基本的な健康診査、超音波検査	妊娠約３４週	9,870円
第９－７回	基本的な健康診査	妊娠約３７週	5,490円
第９－８回	基本的な健康診査	妊娠約３８週	5,090円
第９－９回	基本的な健康診査	妊娠約３９週	5,090円
風疹・HIV	風疹ウイルス抗体価検査、HIV抗体価検査、クラミジア抗原検査	初回妊婦健診で実施	6,180円
HTLV-1	HTLV-1抗体価検査	第３～第５回目の健診で実施	3,030円

(注)第１回から第５回については、受診票明記の有効期限を遵守する。

(注)第９－１回から第９－９回については、母性、乳幼児に対する健康診査及び保健指導の実施について(平成８年１１月２０日児発第９３４号厚生省児童家庭局長通知）の総則５に示す健診の回数及び受診間隔を遵守する。

主な経費

委託料	58,874 千円
需用費	404 千円
扶助費	93 千円
合計	59,371 千円

●妊婦健康診査受診状況（令和7年度）

受診実人員　428 人

受診件数　4,225 件

事業の成果

経済的な理由による妊婦健診未受診を抑制します。健診受診結果より、高血圧等リスクの高い妊婦等に対して、安心して出産ができるように保健指導につなげています。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	62,154	59,371					59,371

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

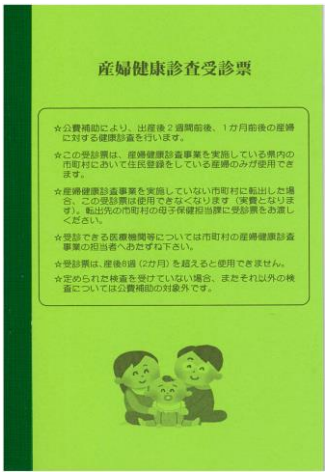
事業名	産婦健康診査事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	衛生費	04
連絡先	889-4524		項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	保健衛生総務費	01

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
子を出生して8週以内の産婦のうち、本町に住所を有する者	産後2週間、産後1か月の出産後間もない時期の産婦に対して健康診査（母体の心身機能の状態把握や授乳状況）の費用を助成し、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行います。

事業の実施内容

■健診の項目
・問診及び診察
・問診及び診察血圧測定
・体重測定
・尿検査
・エジンバラ産後うつ質問票
・赤ちゃんへの気持ち質問票
・育児支援チェックリスト



主な経費		
委託料	4,439	千円
扶助費	35	千円
消耗品費	45	千円
合計	4,519	千円

●産婦健康診査受診状況（令和7年度）
1回目　447 人
2回目　439 人

事業の成果

産婦健診を実施することで、健診結果や医療機関からの情報提供から支援を必要としている産婦の把握に繋がり、切れ目のない支援の実施を行っています。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
5,300	4,519	2,250				2,269

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	新生児妊産婦訪問指導事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	衛生費	04
連絡先	889-4524		項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	第1子目の新生児または乳児とその産婦 (第2子以降は希望のあった方)	産前産後の母体の体調回復や新生児の発育状態の確認、子育ての相談・指導をとおして母親の不安を解消し、母子共に健康な生活を送ることができるように支援します。

事業の実施内容

訪問従事者…助産師、保健師

≪妊婦訪問≫

対象:訪問が必要と判断された妊婦

指導内容
- 健康状態、現状などの問診
- 健康診査の励行
- 妊娠、分娩、産褥(さんじょく)及び育児に関する知識
- 生活環境
- 精神保健
- 妊娠期における歯科疾患の予防、及び治療励行
- 家族計画等



≪新生児・乳児及び産婦訪問≫

対象:第1子目の新生児または乳児とその産婦
(第2子以降で希望のあった方)

指導内容
- 新生児、産婦の健康状態などの問診
- 母乳栄養について
- 抱き方、寝かせ方
- 乳房マッサージ施行
- 予防接種について
- 新生児の生理について
- 産後の経過について
- 産後の休暇の取り方
- 事故予防について
- 母子制度の説明
- 清潔、皮膚の手入れ
- 操体法実施
- ベビーマッサージ施行
- オムツの当て方
- 家族計画
- その他

主な経費

委託料	2,009千円

事業の成果

延べ287件の訪問指導を実施し、産前産後のさまざまな悩みや不安を感じやすい時期に、助産師・保健師が訪問し相談相手となることで、不安や悩みの解消を図り、母子ともに健康な生活が送れるよう支援しました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
-	-

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,030	2,009	814	641			554

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	乳児一般健康診査事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	衛生費	04
連絡先	889－4524		項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	保健衛生総務費	01

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
生後3か月を超え、満1歳に達しない乳児 （前期:4か月～5か月児、後期:9か月～10か月児）	健康診査、栄養指導、保健指導を行い、母子保健に関する知識の普及に努め、乳児の健康の保持及び増進を図ります。

事業の実施内容

乳児一般健康診査（毎月実施／年12回）

会場:　ちむぐくる館

健診内容
- 身体測定（体重・身長・胸囲・頭囲）
- 貧血検査（血色素量）（後期児のみ）
- 小児科医による診察
- 栄養指導
- 保健指導
- 歯科衛生指導（希望者のみ）

スタッフ
- 小児科医師　3名
- 検査技師　2名
- 看護師　3名
- 歯科衛生士　2名
- 栄養士　6名
- 保健師　6名
- 母子保健推進員　4名
- 事務職員　6名

（対象人数によって調整）



主な経費

乳児健診委託料	6，383千円
健診案内通知等	119千円
印刷製本費	117千円
合　　計	6，619千円

令和7年度　乳児健診受診状況

対象者数	受診者数	受診率
908	858	94.5%

健診結果内訳（延べ件数）

問題なし	既医療	要観察・相談	要医療	要精密検査
691	46	52	0	94

事業の成果

乳児期の発育発達の確認や、心身の異常の早期発見はもとより、心身ともにすこやかに成長できるための育児環境づくり、各月齢ごとの発達の様子をまとめた「子どもノート」を活用し育児不安の解消を図りました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,441	6,619					6,619

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	3歳児健康診査事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	衛生費	04
連絡先	889－4524		項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	保健衛生総務費	01

事業の目的

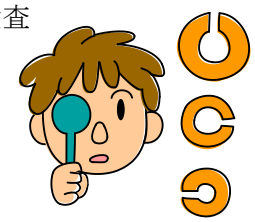
対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
満3歳5か月を超え4歳に達しない幼児	健康診査、保健指導を行い、母子保健に関する知識の普及に努め、幼児の健康の保持及び増進を図ります。

事業の実施内容

3歳児健康診査（毎月実施／年15回）

会場：　ちむぐくる館

健診内容
- 身体測定（体重・身長・胸囲・頭囲）
- 尿検査（尿蛋白・尿糖）
- 屈折検査・視能訓練士による眼科検査
- 小児科医による診察
- 歯科医による診察
- 歯科衛生士の指導及び相談
- 保健指導及び相談
- 栄養指導及び相談
- 心理相談（必要時）



スタッフ
- 小児科医師　1名
- 歯科医師　1名
- 歯科衛生士　2名
- 検査技師　1名
- 視能訓練士　3名
- 看護師　1名
- 心理相談士　1名
- 栄養士　2名
- 保健師　3名
- 母子保健推進員　3名
- 事務職員　2名



主な経費

3歳児健診委託料	2，129千円
健診スタッフ等謝礼金	653千円
消耗品費、印刷製本費	715千円
健診案内通知等	110千円
備品購入費	40千円
合　　計	3，647千円

令和7年度　3歳児健診受診状況

対象者数	受診者数	受診率
485	463	95.5%

健診結果内訳（延べ件数）

問題なし	既医療	要観察・相談	要医療	要精密検査
294	55	42	0	156

事業の成果

幼児期においての視覚、聴覚も含めた発育・発達の確認をし、心身の障がいを未然に防止するとともに、生活習慣の自立、社会性の発達の確保ができるよう支援ができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
4,118	3,647					3,647

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	がん患者アピアランスケア支援事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課		款	衛生費	04
連絡先	889－7381		項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	がんと診断され、その治療を受けた又は現に受けている者であって、当該治療による外見変貌を補完する補整具を必要とする者。	補整具の購入費用の一部を助成することにより、がん患者の心理的・経済的軽減及び療養生活の質の向上を図り、社会参加の促進に寄与することを目的とします。

事業の実施内容

がん患者アピアランスケア支援事業費
扶助費　120千円（6件）

本事業の対象者
下記の要件を全て満たす者となります。
1. 助成金の交付申請日において、南風原町に住所を有する者であること。
2. がんと診断され、その治療を受けた又は現に受けている者であって、当該治療による外見変貌を補完する補整具を必要とする者であること。
3. 申請を行う補整具に対して、他の助成等を受けていないこと。
4. 過去に申請を行う補整具と同種の補整具に対して、沖縄県内の市町村からこの要領又はこの要領と同種の助成金の交付を受けていないこと。

助成金の額
下記の対象補整具ごとに2万円を上限とします。
1. ウィッグ
2. 乳房補整具（左側）
3. 乳房補整具（右側）

対象者1人につき対象補整具の区分ごとに1回限りとなります。

事業の成果

がん患者のがん治療による外見変貌を補完する補整具の購入費用の一部を助成することにより、がん患者の心理的・経済的負担軽減に繋がりました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	400	120		60			60

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	予防接種事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　国保年金課		款	衛生費	04
連絡先	889－7381		項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち		目	予防費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	乳幼児や児童・生徒及び65歳以上の高齢者等を対象に実施します。	伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防し、町民の健康の保持に努めます。

事業の実施内容

令和7年度は、令和6年度からの繰り越し事業も含め、下表及び次ページの定期予防接種を実施しました。

① 子どもを対象とした定期予防接種実績

接種項目	接種	対象人数	接種者数	接種率	対象年齢
ヒブ	1回	454	0	0.0%	2ヶ月 ～ 5歳未満
	2回	454	0	0.0%	
	3回	454	1	0.2%	
	追加	443	31	7.0%	
小児用肺炎	1回	454	443	97.6%	2ヶ月 ～ 5歳未満
	2回	454	444	97.8%	
	3回	454	441	97.1%	
	追加	443	399	90.1%	
4種混合	1回	470	1	0.2%	3ヶ月 ～ 7歳半未満
	2回	470	2	0.4%	
	3回	470	2	0.4%	
	追加	418	87	20.8%	
5種混合	1回	470	444	94.5%	3ヶ月 ～ 7歳半未満 ※令和6年4月1日より定期接種 （4種混合ワクチン＋ヒブ）
	2回	470	445	94.7%	
	3回	470	442	94.0%	
	追加	418	361	86.4%	
BCG	1回	465	408	87.7%	5ヶ月 ～ 1歳未満
ロタウイルス	1回	454	429	94.5%	生後2ヶ月～24週（32週） ※ワクチンによって接種回数と期限が異なります。
	2回	454	434	95.6%	
	3回	454	61	13.4%	
ＭＲ	1期	431	410	95.1%	1歳 ～ 2歳未満
	2期	565	459	81.2%	5歳～7歳未満で小学就学前の1年間
水痘	1回	443	415	93.7%	1歳 ～ 3歳未満
	2回	418	348	83.3%	
B型肝炎	1回	454	443	97.6%	2ヶ月 ～ 1歳未満
	2回	454	444	97.8%	
	3回	454	365	80.4%	
日本脳炎1期	1回	470	521	110.9%	6ヶ月 ～ 7歳半未満
	2回	470	500	106.4%	
	追加	506	424	83.8%	
日本脳炎	2期	580	385	66.4%	9歳 ～ 13歳未満
Ｄ Ｔ	2期	546	330	60.4%	11歳 ～ 13歳未満
子宮頸がん	1回	285	66	23.2%	13歳 ～ 16歳になる女性 ※左記の接種者数には、特例措置(27歳まで)が含まれています。
	2回	285	88	30.9%	
	3回	285	69	24.2%	

次ページへ続く →

事業の実施内容

②高齢者を対象とした予防接種実績

接種項目	接種	対象人数	接種者数	接種率	対象年齢
インフルエンザ	1回	8,734	3,917	44.8%	65歳以上
コロナ	1回	8,734	751	8.6%	65歳以上　※令和6年10月1日より定期接種
高齢者肺炎	1回	392	50	12.8%	65歳の誕生日前日から66歳の誕生日前日まで
帯状疱疹	1回	1,892	442	23.4%	令和7年度中に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳になる者、100歳以上になる方 ※ワクチンによって接種回数と期限が異なります。
	2回	1,892	226	11.9%	

令和7年度予算執行状況（令和6年度からの繰越し含む）

（単位：千円）

項　目	R6(繰越分)	R7	合計
予防接種医師委託料	0	164,362	164,362
その他事務費	338	10,541	10,879
合　計	338	174,903	175,241

※予防接種予診票登録システム改修委託料は令和8年度へ繰越（391千円）

事業の成果

予防接種を実施することにより、伝染の恐れがある疾病及びまん延を予防する事ができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
・外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生件数　0件	・外国人観光客受入に起因する麻しん・風しん集団感染の発生はなかった。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	187,785	175,241	0	7,638			167,603

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	宮平保育所運営事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	民生費	03
連絡先	889－7028		項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	就労家庭等保育を必要とする世帯の子どもたち。	家庭に代わりこども達が安全で楽しく過ごせるよう保育に努めます。支援を必要とする子への適切な対応、早期発見が望まれるようなケースについても、先駆けとなって丁寧な保育に取り組んでいきます。

事業の実施内容

宮平保育所運営事業

主な経費

○ 会計年度任用職員報酬・給料・職員手当等　59，157千円
日常の保育業務を行う会計年度任用職員（保育士）や、非常勤の調理員を雇用し、その賃金や手当として使いました。

○ 消耗品　1，583千円
保育用教材・保健用品・事務用品・清掃用品など、施設内の消耗品・事務用品等を購入しました。

○ 光熱水費　2，848千円
保育所を運営するために必要なエネルギーである、電気・水道・ガスの使用料金として使いました。

○ 給食材料費　7，465千円
栄養のバランスがとれた園児の給食・おやつ・ミルク等の材料費として使いました。

○ その他の費用　6，815千円
保育所を運営するために必要不可欠な行事費、健康診断料、施設の修繕費、電話料金、保険料、衛生管理費等として使いました。

○ 工事費　12，297千円
保育所施設の防水工事及び給食室の換気扇取替工事を施工し、安心して保育ができる環境を作るため、施設の維持管理に努めました。



ひなまつり会
（文化の継承）



「ぞうきんかたくしぼれるよ」
（身体能力の向上、感覚の統合、心と自立の育成）



ガジュマルの木登り
（身体能力の向上、知的好奇心、問題解決力、粘り強さ、豊かな感性）

事業の成果

保護者と連携を図りながら、乳幼児期のこども達の健やかな成長・発達を促し、保育の充実と子育ての支援に取り組みました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	92,663	90,165	50		10,800		79,315

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	認可保育園事業・補助(保育所運営費)	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	民生費	03
連絡先	889－7028		項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	保育所運営事業	02

事業の目的

対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
認可保育園(施設、在園児、保護者)	就労等で保育が必要な保護者に代わって保育を行い、入所児童の心身の健全な発達を確保します。

事業の実施内容

1. 入所児童数　(令和8年3月1日現在)　　単位:人、%

施設名	定員	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	弾力化
宮平保育所	60	6	8	12	15	14	0	55	91.7%
公立計	60	6	8	12	15	14	0	55	91.7%
津嘉山保育園	139	21	30	30	33	31	0	145	104.3%
かねぐすく保育園	100	18	21	18	18	18	14	107	107.0%
南風原はなぞの保育園	140	12	20	29	30	27	20	138	98.6%
若夏保育園	120	15	28	25	27	24	0	119	99.2%
みつわ保育園	136	12	28	28	28	26	14	136	100.0%
さんご保育園	170	15	23	30	33	33	27	161	94.7%
はえばる保育園	150	21	35	36	36	25	0	153	102.0%
マイフレンズ保育園	120	15	24	24	28	24	12	127	105.8%
てぃだ保育園	120	15	24	23	30	29	0	121	100.8%
なのはな保育園	120	12	23	24	25	18	8	110	91.7%
よなは保育園	97	9	18	18	17	16	14	92	94.8%
ももの木保育園	60	6	11	17	23	12	0	69	115.0%
やまがわ保育園	107	15	20	24	29	22	0	110	102.8%
南風原やまびこ保育園	60	9	10	12	14	12	0	57	95.0%
明星保育園	90	15	18	20	30	16	8	107	118.9%
よなは第2保育園	90	12	18	18	15	19	14	96	106.7%
広域入所	－	0	2	1	1	0	1	5	－
私立計	1,819	222	353	377	417	352	132	1,853	101.6%
合計	1,879	228	361	389	432	366	132	1,908	101.3%

2. 運営費支弁額　(令和7年度実績)　　単位:円

施設名	運営費
津嘉山保育園	219,138,150
かねぐすく保育園	162,098,980
南風原はなぞの保育園	188,379,180
若夏保育園	169,243,500
みつわ保育園	189,277,610
さんご保育園	218,529,860
はえばる保育園	226,625,950
マイフレンズ保育園	175,851,280
てぃだ保育園	179,305,630

施設名	運営費
なのはな保育園	152,029,130
よなは保育園	129,381,770
ももの木保育園	116,428,100
やまがわ保育園	163,555,220
南風原やまびこ保育園	110,384,950
明星保育園	153,403,570
よなは第2保育園	149,273,160
広域入所	4,487,210
合計	2,707,393,250

事業の成果

保育所において家庭や地域社会と連携を図り、こどもが安全で情緒の安定した生活ができるよう環境を整備し、健全な心身の発達を図り、豊かな人間性を育むことができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,726,084	2,707,393	1,318,626	514,303		229,761	644,703

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	延長保育促進事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	民生費	03
連絡先	889－7028		項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	保育所運営事業	02

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
認可保育園等に入所した児童	認可保育園等における保育士配置の充実を図ることにより11時間の開所時間の始期及び終期前後の保育需要への対応の推進を図ります。

事業の実施内容

○　認可保育園延長保育促進事業補助金（18園）　18，110千円
　　利用者延人数(18，293人)　　1日平均84人

- 対象児童は実際に延長保育を利用した保育所入所児童です。
- 対象児童に対し、適宜、間食等を提供します。
- 保護者が仕事をする上で終業が遅くなったときなど、安心してこどもを預ける事ができます。

延長保育促進事業利用状況（各月1日当たり平均人数）

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年1日平均
津嘉山保育園	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
かねぐすく保育園	1	2	3	3	2	2	2	2	5	4	5	2	3
南風原はなぞの保育園	6	6	7	7	6	6	7	7	8	5	8	7	7
若夏保育園	3	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3	2	3
みつわ保育園	6	6	6	6	5	6	5	5	6	5	6	5	6
さんご保育園	7	8	7	7	7	9	10	10	10	9	11	11	9
はえばる保育園	1	2	3	3	2	2	2	2	3	2	1	2	2
マイフレンズ保育園	8	10	9	9	8	9	9	9	9	9	9	8	9
てぃだ保育園	6	4	5	6	7	7	8	8	8	7	8	8	7
なのはな保育園	3	3	3	2	4	3	3	3	4	4	8	5	4
よなは保育園	6	6	7	9	7	7	8	8	7	8	13	6	8
ももの木保育園保育園	2	3	4	3	2	3	3	3	3	2	2	2	3
やまがわ保育園	1	3	4	4	6	5	5	5	6	5	6	7	5
南風原やまびこ保育園	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	2	1	2
よなは第２保育園	6	7	6	5	6	7	6	5	7	6	5	5	6
明星保育園	4	3	3	3	3	3	5	6	6	6	5	6	4
開邦幼稚園	2	3	2	3	3	3	3	3	4	3	3	4	3
くわの実保育園	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
													84

事業の成果

就労形態の多様化等に伴いやむを得ない理由で、通常保育時間内（7時～18時）に保育園へ児童の送り迎えができない保護者に対して、延長保育を実施し安心して子育てができる環境を整備することにより、保育の充実を図ることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
18,956	18,110	8,315	6,036			3,759

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	発達支援児保育事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	民生費	03
連絡先	889－7028		項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	保育所運営事業	02

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
町内の認可保育園に通う発達支援児を受け入れている園を対象とします。	保育を必要とし、かつ発達に課題がある児童に対して、集団保育の中で適切な指導を実施することによって、健全な社会性の成長、発達を促すことを目的とします。

事業の実施内容

南風原町発達支援児保育事業実施要綱等により行う事業を実施している認可保育園等に対し，補助を行いました。

決算額　：　64，284千円

補助金の額の算定方法

各月初日現在の対象児童数	基準額	対象経費
1名	71，000円（月額単価）×入所月数	発達支援児保育実施に必要な経費
2名	197，000円（月額単価）×入所月数	
3名以上	3名以上については、197，000円（月額単価）に、対象児童数が1名増すごとに126，000円を加算した金額×入所月数	

令和7年度　発達支援児保育事業補助金　実施実績

	施設名	対象園児数	補助実績額
1	津嘉山保育園	3人	3,876,000円
2	かねぐすく保育園	7人	9,672,000円
3	南風原はなぞの保育園	3人	3,876,000円
4	若夏保育園	1人	852,000円
5	みつわ保育園	11人	15,090,000円
6	さんご保育園	4人	5,388,000円
7	はえばる保育園	2人	2,364,000円
8	マイフレンズ保育園	6人	8,412,000円
9	てぃだ保育園	1人	852,000円
10	なのはな保育園	2人	2,364,000円
11	よなは保育園	2人	1,482,000円
12	ももの木保育園	2人	2,364,000円
13	やまがわ保育園	1人	852,000円
14	南風原やまびこ保育園	1人	852,000円
15	明星保育園	3人	3,876,000円
16	よなは第2保育園	2人	2,112,000円
合計		51人	64,284,000円

事業の成果

発達支援児保育事業は、集団保育が可能な発達支援児に対し、適切な保育を支援・実施する事業です。有識者による巡回指導、発達支援児交流会、発達支援児研究発表会なども行っております。巡回指導により、保育士が対象児童との関わり方を学び、さらに、成長・発達課題をしっかりおさえ、児童に合った働きかけを大切にすることで、社会性を育てるなど、発達支援児保育事業の充実を図ることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
64,284	64,284		6,894			57,390

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認可保育園事業・町単独事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	民生費	03
連絡先	889－7028		項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	児童福祉総務費	01

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
町内の認可保育園、地域型保育施設及び認定こども園の運営を支援します。	施設や施設の職員を支援することにより安定した運営を促し、児童に対するよりよい保育の実施を図ります。

事業の実施内容

1．発達支援児保育特別措置会議委員謝礼金　10千円
発達に課題がある児童の適正な入所を図るため、有識者を含めた関係者による発達支援児保育実施会議を実施します。

2．発達支援児保育巡回指導員謝礼金　293千円
発達に課題がある児童について、児童が通う認可保育園等を有識者が訪問し、施設の職員及び保護者に保育・子育ての助言を行うことにより、児童の健全な社会性の成長、発達を促します。

3．発達支援児保育研修会講師謝礼金　63千円
発達に課題がある児童の保育や子育てについて、認可保育園等の職員や保護者を対象に有識者による講演会や相談会などを実施することにより、保育や子育てをサポートします。

4．保育料自動振替取扱手数料・WEB口座振替受付サービス手数料　108千円

5．保育士等就職一時金　8,100千円
待機児童の解消に向けた保育士確保を図るため、新たに認可保育所等に就職し、1年以上又は2年以上継続して勤務した保育士に対し、保育士就職支援一時金を交付します。
※就職支援一時金交付対象者81名
（1年以上継続して勤務：38名、2年以上継続して勤務：43名）


なにを見つけたのかな～


暑い日はやっぱり水遊び！


大豆から豆腐づくり♪

事業の成果

有識者による巡回指導、発達支援児交流会、発達支援児研究発表会などを実施することにより、保育士や保護者に対し、発達に課題がある児童の保育や子育ての方法について助言・支援することができ、負担感を和らげることができました。また、発達に課題がある児童は、より適切な保育を受けることができるようになりました。
また就職支援一時金を交付することにより、保育士を確保し、待機児童解消を図ることができ、施設の安定した運営にもつながりました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
9,898	8,574					8,574

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	地域型保育事業・補助	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	民生費	03
連絡先	889－7028		項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち		目	保育所運営事業	02

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
地域型保育施設 （小規模・事業所内保育施設、在園児、保護者）	事業所の施設等で従業員の児童を保育すると共に、地域枠を設け0～2歳児の保育を実施することで、待機児童の解消を行います。

事業の実施内容

1．入所児童数（令和8年3月1日現在）

○小規模保育施設　　単位：人

施設名	定員	0歳児	1歳児	2歳児	合計
くわの実保育園	19	6	9	7	22
たいようのおか保育園	19	5	11	6	22
ぱすてる保育園つかざん園	19	5	6	11	22
ひまわり保育園	19	6	6	3	15
町内施設　計	76	22	32	27	81
広域入所　計	0	0	0	0	0
合計	76	22	32	27	81

○事業所内保育施設
※町内在住者のみ　　単位：人

施設名	地域枠	従業員枠	合計
よいサマリヤ人保育園（南風原町）	3	5	8
町内施設　計	3	5	8
ひらやす保育園（中城村）	－	1	1
きらら保育園（八重瀬町）	－	3	3
もこもこ保育園（浦添市）	－	3	3
ゆたかベビーガーデン（豊見城市）	－	2	2
広域入所　計	－	9	9
合計	3	14	17

○地域型保育事業は、平成27年度より施行された子ども・子育て支援制度に伴い市町村が設置認可・確認を行い、待機児童の多い0歳児から2歳児を受け入れる施設です。その中のひとつである事業所内保育事業は、事業所の所在地の各市町村が設置認可・確認した事業所内保育所にて、従業員の児童以外に地域の待機児童の受け入れを行い、待機児童の解消を図っています。令和7年度現在、町認可施設として小規模保育施設4園、事業所内保育施設1園が運営を行っています。

2．運営費支弁額（令和7年度実績）　　単位：円

施設名	運営費	施設名	運営費
くわの実保育園	51,972,190	よいサマリヤ人保育園（南風原町）	12,805,480
たいようのおか保育園	51,140,760	ひらやす保育園（中城村）	2,201,710
ぱすてる保育園つかざん園	55,384,170	きらら保育園（八重瀬町）	2,422,720
ひまわり保育園	23,824,940	もこもこ保育園（浦添市）	5,678,290
		ゆたかベビーガーデン（豊見城市）	4,893,870
		事業所内保育運営費（小計）	28,002,070
小規模保育運営費（小計）	182,322,060	合計	210,324,130

事業の成果

地域型保育施設にて、0歳～2歳の子どもを受け入れる事で、健全な心身の発達を図り、豊かな人間性を育むことができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	211,697	210,324	118,026	40,085			52,213

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	保育対策総合支援事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	民生費	03
連絡先	889－7028		項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	保育所運営事業	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町立宮平保育所 町内の法人保育園及び地域型保育施設並び認可外保育施設	保育士が働きやすい職場の環境整備を行い、就業継続及び離職防止を図ります。

事業の実施内容

1. 保育体制強化事業補助金　18,711千円
実施園14園　※保育士資格を有しない保育支援者を配置した認可保育園等に対して補助（人件費）を行いました。

2. 保育補助者雇上強化事業補助金　39，072千円
実施園13園　※保育士資格を有しない保育補助者を配置した認可保育園等に対して補助（人件費）を行いました。

3. 保育士宿舎借上支援事業補助金　9，334千円
実施園9園　※保育士の宿舎を借り上げした認可保育園等に対して補助（家賃）を行いました。

4. 保育所等におけるICT化推進事業補助金　150千円
実施園1園　※保育士の業務負担軽減を図るため登校園管理システムなどを導入しICT化した認可保育園等に対して補助（システム導入費）を行いました。

5. 保育環境改善等補助金（安全対策事業）　630千円
実施園9園　※性被害防止対策のための設備・備品の購入等について、補助を行いました。


みんなで育てたじゃがいも収穫！


七夕会☆流しそうめん


何が見えたかな？

事業の成果

保育対策総合支援事業は、保育士の業務や健康面での支援を行い、就業継続・離職防止を図る事業や保育士資格を有しない保育補助者に保育士資格の取得を促し、保育人材の確保を図る事業などを実施することにより、日々、園児を対応している保育士等の業務環境の改善・充実を推進及び感染症拡大を防止する対策を図ることが出来ました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	88,149	67,897	6,790	48,211			12,896

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	母子父子家庭医療費助成事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	民生費	03
連絡先	889－7028		項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	母子家庭の母と児童 父子家庭の父と児童 養育者及び養育者が養育する父母のいない児童	母子及び父子家庭等に対し、医療費の一部を助成することにより、生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図ることを目的とします。

事業の実施内容

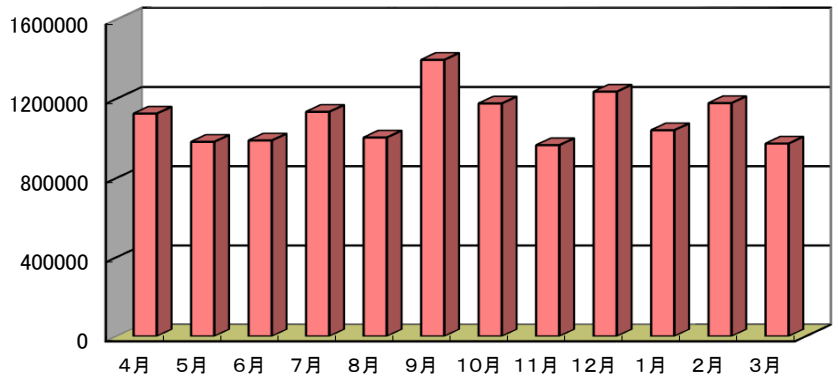
令和7年度　母子及び父子家庭等受給者数調

区分／保険種別	母子家庭		父子家庭		養育者家庭		計	
	母	児童	父	児童	養育者	児童	保護者	児童
国保分	176	347	19	30	2	12	197	389
社保分	361	599	28	41	3	6	392	646
合計	537	946	47	71	5	18	589	1,035

●扶助費　13，203千円

令和7年度　母子父子家庭医療費助成金実績額　（単位：円）

	助成額
4月	1,124,960
5月	982,690
6月	989,490
7月	1,134,150
8月	1,004,430
9月	1,396,360
10月	1,176,230
11月	965,790
12月	1,235,700
1月	1,041,194
2月	1,178,111
3月	973,889
合計	13,202,994



＊　通院の場合、1月1診療機関につき1，000円（一部負担金）を控除した額が助成となります。
【医科・歯科別総合病院においては、各診療科ごとに1，000円を控除した額を助成致します。】
＊　さらに、こども医療費助成の対象者については、上記1，000円（一部負担金）をこども医療費助成にて負担しております。

●需用費（印刷製本費）　23千円　　●役務費（通信運搬費）　200千円

事業の成果

雇用状況や、経済基盤の不安定な母子父子家庭の親と子、養育者家庭の養育者と子に対し、医療保険各法適用後の自己負担額（通院分・入院分・調剤薬局も含む）から一部負担金を控除した額を助成することにより、経済的な負担軽減を図りました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	14,123	13,426		6,601			6,825

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	こども医療費助成事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	衛生費	04
連絡先	889－7028		項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	保健衛生総務費	01

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
南風原町に住所を有する0歳～18歳になった後の最初の3月31日までのこども	こどもの医療費の一部を助成することにより、健康の増進を図り、こどもの健やかな成長に寄与することを目的とします。

事業の実施内容

【 令和7年度　こども医療費助成実績 】

◆ 扶助費　　決算額: 276, 974千円

単位:円

令和7年度　こども医療費助成				
	助成対象者数（人）	助　成　額　（円）		
		償還分払分	現物給付分	助成額合計
4月	9,430	678,298	20,483,892	21,162,190
5月	9,459	469,014	25,904,090	26,373,104
6月	9,491	324,157	22,656,633	22,980,790
7月	9,540	302,773	22,593,235	22,896,008
8月	9,576	381,728	23,830,973	24,212,701
9月	9,631	416,610	23,490,226	23,906,836
10月	9,684	330,994	22,983,001	23,313,995
11月	9,731	711,444	19,871,516	20,582,960
12月	9,757	432,139	21,507,198	21,939,337
1月	9,789	325,419	21,863,909	22,189,328
2月	9,815	452,785	21,834,934	22,287,719
3月	9,832	279,734	24,848,926	25,128,660
	合計	5,105,095	271,868,533	276,973,628

＊　令和4年10月1日より対象年齢を18歳になった後の最初の3月31日まで拡充しました。

◆ 印刷製本費　　決算額:　　22千円

◆ 役務費(手数料)　　決算額:　6,339千円



事業の成果

医療保険各法適用後の自己負担額（通院分・入院分・調剤薬局も含む）の全額を助成することにより、こどもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、こどもの健全な育成と子育て世代への負担軽減に役立っています。また、平成29年1月に導入した現物給付方式（窓口無料化）により、医療費を窓口で支払うことが困難な為に受診を控えていたこどもも、他のこどもと同様に医療を受けることができるようになりました。
また、令和4年10月1日より対象年齢を18歳になった後の最初の3月31日まで拡充し、より一層の、子育て世帯の負担軽減へと繋がりました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
289,634	283,335		123,287			160,048

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	子供の貧困緊急対策事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	民生費	03
連絡先	889－4524		項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	社会的孤立（貧困）家庭の子どもとその世帯	社会的孤立（貧困）家庭の子どもとその世帯の福祉の向上と、孤立（貧困）連鎖の打破に努めます。

事業の実施内容

・子どもの貧困対策支援員配置事業

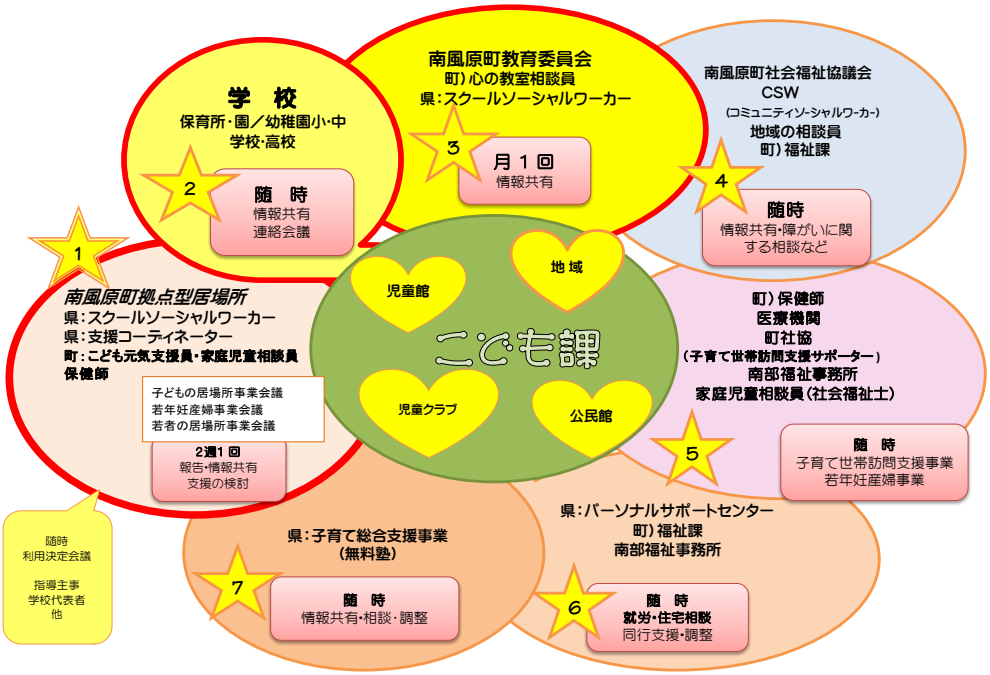
子どもの貧困対策支援員（子ども元気支援員）が地域に出向いたり関係機関からの情報を受け子どもの孤立（貧困）の現状を把握し、学校や学習支援施設、子どもの居場所づくりを行う事業所等の関係機関との情報共有・連携を図り支援を行っています。

また、町保健師等からの情報をうけ連携し、若年妊産婦の現状把握、若年妊産婦居場所へのつなぎ、居場所事業所と情報共有や連携を図り必要な行政サービスへつなぐ等の支援を行っています。

・子ども元気支援員（4人）（報酬、手当、旅費、共済費）　16,936 千円
・庁費（需用費、役務費、賃借料、負担金等）　589 千円
・子どもの居場所、若年妊産婦、若者の居場所の運営支援事　44,378 千円

※元気ROOM（子どもの居場所）、ママ笑みROOM（若年妊産婦の居場所）、ここROOM（若者の居場所）において必要な支援を提供

①生活支援　③文化的活動支援　⑤保護者の支援（養育支援）　⑦若者の学習就労支援
②学習支援　④食事支援（提供）　⑥若年妊産婦等支援



事業の成果

支援が必要な子どもを把握し元気ROOM等へ繋げることができました。また、元気ROOMを利用することで生活習慣、学習習慣を身につける、食の確保等を支援し福祉の向上が図られました。

元気ROOMで個別対応、アウトリーチをすることで心を開いてくれた子ども達も多く、その支援により不登校の未然防止や支援につながりました。保護者と信頼関係を築き養育支援をすることで、生活環境の改善や行政サービスへつなぐことができました。

ママ笑ROOMでは若年妊産婦に心の安まる居場所を提供し安心して出産・子育てができるよう専門的知識を持った助産師等と一緒に包括的に支援をすることで、不安や孤立を解消し必要な行政サービスへつなぐことができました。

ここROOMでは、学習を通して信頼できる大人との関係構築をし、課題をやり遂げることで自己肯定感の向上につながりました。就労支援では、スモールステップでボランティア活動や同年代のコミュニティへの参加など社会体験の幅が広がりました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	67,491	61,903	55,081				6,822

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	病児保育事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	民生費	03
連絡先	889－7028		項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	保育所運営事業	02

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
町在住のおおむね生後6ヶ月から小学生までの児童で、病気治療中又は、回復期にある病児保育を必要とする児童	児童が病気の治療中又は回復期にあり、集団保育および保護者による保育が困難な場合に、適切な処遇が確保される施設で一時的に預かることで、保護者の子育てと就労の両立の支援を行います。

事業の実施内容

平成27年度より、町内の医療機関へ委託して病児保育事業を実施しています。

○実施施設
医療法人わらべの会　わんぱくクリニック
南風原町字津嘉山1490番地　メディカルプラザつかざん2F

○利用時間

月～土	午前8時45分から午後5時30分まで（第5土曜日は午後1時まで）
休業日	日曜日・祝祭日・（第5土曜日は午後1時から休業）

○利用料金

区分	生活保護世帯	生活保護世帯以外
1日利用料	0円	1,500円
半日利用料		1,000円

1．病児保育事業委託料　　9，343千円
（内訳）(1)基本額　6,270　千円
(2)利用人数に応じた委託料(200人以上～250人未満)　2,825　千円
(3)当日キャンセル対応加算額(25回以上～50回未満)　248　千円

2．病児保育施設年度別利用児童数

年度	利用人数実績												合計	当日キャンセル対応
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
H28	38	23	24	30	39	21	21	11	12	4	6	28	257	
H29	9	23	43	36	21	25	15	33	35	36	21	27	324	
H30	18	45	28	20	52	35	41	31	43	36	40	32	421	
R1	33	33	67	60	45	62	39	40	21	32	46	58	536	
R2	15	0	28	23	4	22	28	30	35	12	0	11	208	
R3	0	0	0	6	4	1	19	19	17	1	0	0	67	
R4	0	8	17	10	2	6	15	15	16	32	21	26	168	
R5	12	23	16	17	15	19	9	19	9	20	14	14	187	
R6	21	10	26	21	26	28	30	16	16	23	6	7	230	75
R7	20	21	32	8	22	19	28	18	14	11	21	11	225	45

事業の成果

保護者が就労している場合等に、子どもが病気の治療中又は回復期にある児童を、安心して預ける事のできる病児保育施設に一時的に預ける事で、保護者の子育てと仕事の両立を支援することができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
10,728	9,343	3,969	3,114			2,260

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	児童館運営事業・単独	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	民生費	03
連絡先	889－7028		項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	児童厚生施設費	03

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
児童館を利用する児童等	児童に健全な遊びの場を与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とします。

事業の実施内容

【児童館活動の内容】

・館内活動
（主たる児童館活動で、遊戯室での体を使った遊びの他、読書や宿題の見守り等）

・体験活動
（各館で講師を招いての、工作、芸術鑑賞、クッキング、チャンバラ遊び等）

・館外活動
（地域の清掃活動や自然観察、公民館での交流会等）

【整備関係】

・防水工事、遊戯室木床メンテナンス修繕等

単位：千円

主な経費	決算額
児童厚生員報酬（12人）	25,032
職員手当等（12人）	9,312
体験活動等に伴う報償費	451
消耗品費	804
光熱水費	1,296
その他（維持管理・工事含む）	25,232
合　計	62,127

年間利用者数		
北丘児童館	15,317	人
兼城児童館	12,343	人
本部児童館	10,156	人
津嘉山児童館	12,434	人
合計	50,250	人

○本部児童館（オルカ号乗船体験）



○兼城児童館(科学実験教室)



事業の成果

子どもの遊びの拠点と居場所となり、地域の子どもの発達の増進と放課後等における安定した日常の生活支援を図られました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	62,886	62,127			17,200		44,927

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	学童保育事業・補助	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	民生費	03
連絡先	889－7028		項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	児童厚生施設費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	労働等により昼間保護者のいない家庭の小学校児童を預かる学童クラブ	学童クラブに補助金を交付することにより、労働等により昼間保護者のいない家庭における児童の健全育成を図ることを目的とします。

事業の実施内容

●学童クラブ支援員等資質向上研修委託料　1,694千円
資質向上研修を行い、放課後児童支援員等の専門性や学童クラブの質の向上を図ります。

●学童保育事業・補助　　404,708千円
本町にある下記の21箇所（28支援）の学童クラブと令和8年度新規開所する1箇所（1支援）の学童クラブ、また、1箇所の緊急対策事業、その他、ICT化推進、事業継続支援のため補助金を支出しました。

学童クラブ補助金　384,075千円

単位:円

学童クラブ名	補助額	学童クラブ名	補助額
みやび学童クラブ	15,801,000	スマイリークラブ	17,245,000
よなは学童クラブ	13,902,000	スマイリークラブ２	11,666,000
よなは第2学童クラブ	13,807,000	いこい学童クラブ	16,964,000
北丘学童クラブ	12,124,000	いこい第二学童クラブ	18,346,000
はなぞのアーチ学童	9,355,000	翔南学童クラブ	15,334,000
学童クラブVI-VA	8,938,000	みつわ学童クラブ	16,739,000
学童クラブVI-VAぷらす	8,819,000	学童クラブうーまく家	14,756,000
こもれび学童クラブ	17,986,000	竹の子学童クラブ	13,522,000
いろは児童クラブ	13,758,000	第二竹の子学童クラブ	13,738,000
みつば児童クラブ	13,426,000	津嘉山学童クラブ	13,115,000
キッズクラブ　カナカナ	11,941,000	津嘉山うむさ学童クラブ	13,815,000
キッズクラブ　Link	14,356,000	津嘉山うむさ第2学童クラブ	9,604,000
ドルチェ学童クラブ	10,733,000	桃の木学童クラブ	15,900,000
第二ドルチェ学童クラブ	12,176,000	かなさ児童クラブ	16,209,000
		合計	384,075,000

学童クラブICT化推進事業補助金　432千円
（令和7年度中開所施設(支援)）

単位:円

学童クラブ名	補助額
津嘉山うむさ第2学童クラブ	432,000

次ページへ続く　→

事業の実施内容

放課後こども環境整備事業　18,153千円
（開所・移転による整備修繕のための補助）

単位：円

学童クラブ名	補助額	学童クラブ名	補助額
スマイリークラブ（移転および支援増）	10,210,000	いこい第3学童（既存施設内新規開所）	1,000,000
第2竹の子学童（移転）	6,943,000		
		合計	18,153,000

放課後居場所緊急対策事業補助金　837千円
（待機児童発生時の緊急的な措置として、放課後の居場所を提供するための補助）

単位：円

学童クラブ名	補助額
マイフレンズ♡はーと	837,000

学童クラブ事業継続支援事業補助金　1,211千円

物価上昇の厳しい環境の中でも安定的な事業運営を継続して提供するための支援（上限50千円）
要望のあった18箇所（23支援）の学童クラブへ補助金を支出しました。

事業の成果

昼間保護者が家にいない児童が、集団で安心して過ごすことができる場を提供することができ、その健全な育成が図られました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
―	―

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	411,988	406,402	137,511	134,625			134,266

令和7年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	放課後児童の居場所づくり支援事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	民生費	03
連絡先	889－7028		項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	児童厚生施設費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	建物を賃貸している学童クラブ、生活保護世帯及び非課税世帯、ひとり親世帯の児童の保育料を減免した学童クラブ デジタル技術の活用を実施した学童クラブ	家賃補助および利用料の一部補助をすることで保護者の負担を軽減し、子どもの居場所である学童クラブを利用しやすくします。さらにデジタル技術の活用によるクラブの質の向上を図ります。

事業の実施内容

●放課後児童の居場所づくり支援事業　　29,367千円
　内訳　：学童クラウドシステム委託料　　3,049千円
　　家賃補助　　19,969千円　　保育料減免補助　　6,349千円

	家賃補助	保育料減免補助	
施設名	補助金額（円）	対象児童数（人）	補助金額（円）
みやび学童クラブ	1,656,000	3	145,000
よなは学童クラブ	1,500,000	2	120,000
よなは第2学童クラブ	1,500,000	7	390,000
北丘学童クラブ	2,940,000	10	347,000
はなぞのアーチ学童	0	1	60,000
学童クラブVI-VA	1,620,000	5	195,000
学童クラブVI-VAぷらす	1,260,000	1	31,000
こもれび学童	0	2	68,000
いろは児童クラブ	1,190,000	3	89,000
みつば児童クラブ	1,656,000	0	0
キッズクラブカナカナ	0	3	195,000
キッズクラブリンク	0	10	525,000
ドルチェ学童クラブ	1,927,000	7	375,000
第二ドルチェ学童クラブ	1,240,000	4	133,000
スマイリークラブ	0	9	401,000
スマイリークラブ２	0	1	40,000
いこい学童クラブ	0	12	574,000
いこい第2学童クラブ	0	11	592,000
翔南学童クラブ	2,280,000	5	300,000
みつわ学童クラブ	0	4	213,000
学童クラブうーまく家	0	2	84,000
竹の子学童クラブ	1,200,000	6	270,000
第二竹の子学童クラブ	0	4	215,000
津嘉山学童クラブ	0	3	180,000
津嘉山うむさ学童クラブ	0	7	420,000
桃の木学童クラブ	0	4	154,000
かなさ児童クラブ	0	5	233,000
合計	19,969,000	131	6,349,000

事業の成果

学童保育料減免補助については、ひとり親家庭及び生活保護世帯、非課税世帯を対象として実施しました。その結果、対象となる学童クラブ利用者の保育料が引き下げられ利用者の負担軽減につながり、これまで経済的な理由で学童クラブの利用が困難だった世帯も、利用しやすくなりました。また、クラウドシステムの導入により、利用児童の出席登録や、職員の配置確認作業がシステム上で可能となり、各学童クラブの業務の質向上につながっております。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
対象となる児童の保護者へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。	保護者アンケートにおいて子育てへの負担感が軽減されたと答えた割合が98％であった。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	29,429	29,367	0	28,038	0	0	1,329

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	ファミリーサポートセンター事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	民生費	03
連絡先	889－4524		項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	児童福祉総務費	01

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
地域の子育て家庭	子育てのお手伝いを必要としている人（おねがい会員）と子育てのお手伝いをしたい人（サポート会員）とを結びつける会員制の相互援助活動を行います。

事業の実施内容

○ファミリーサポートセンター事業　　7，035千円

【センターの業務】
①会員の募集、登録に関すること
②相互援助活動の調整
③会員を対象に相互援助活動に必要な知識を習得するための講習会の開催
④会員の交流を深め、情報交換の場を提供するための交流会の開催
⑤子育て支援に関する関係機関との連絡調整に関する業務
⑥広報活動

【登録会員状況】　　単位：人

会員の種類	R3	R4	R5	R6	R7
援助を行いたい会員（提供会員）	104	107	119	122	92
援助を受けたい会員（依頼会員）	361	390	423	425	333
両方会員	64	58	58	60	46
合計	529	555	600	607	471

【活動実績】　　件数

活動の内容	R3	R4	R5	R6	R7	活動の内容	R3	R4	R5	R6	R7
保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り	18	290	56	121	210	保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	10	14	100	209	43
保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	113	140	90	41	208	保護者等の求職活動中の援助	0	0	0	0	0
学校の放課後の預かり	0	0	20	1	0	保護者等の外出の場合の援助	22	16	48	18	2
学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	19	7	12	1	0	保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	2	0	2	0	0
子どもの習い事等の場合の援助	86	224	156	402	236	保護者等の病気、その他急用の場合の援助	8	6	2	21	30
保育所・学校等休み時の援助	3	2	3	0	0	その他	126	14	29	78	153
保育所等施設入所前の援助	0	0	0	0	0	合計	407	713	518	892	882

事業の成果

急な用事等により一時的に子どもを預かって欲しいけれど頼れる人がいない世帯の子育て支援のために、育児について助け合う相互援助活動を通して、子育て世帯の負担を緩和することが出来ました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,205	7,035	2,220	1,820			2,995

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	地域子育て支援拠点事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	民生費	03
連絡先	889－7028		項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	保育所運営事業	02

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
地域の子育て家庭	子育て家庭が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供・助言、子育てサークルなどへの支援や地域の保育需要に応じた支援を行います。

事業の実施内容

主な経費

○宮平保育所　　4，402千円
（会計年度任用職員人件費、消耗品費、備品購入費等）

○認可保育園子育て支援拠点事業補助金　　22，738千円

・広報活動として「ふくぎの家だより（宮平保育所）」「たんぽぽ広場だより（津嘉山保育園）」「がじゅまる広場だより（かねぐすく保育園）」「つぼみの広場だより（よなは第2保育園）」を発刊しました。

・絵本の読み聞かせや育児講座、手作りおもちゃ作り、親子クッキング等、子育て親子のニーズや要望を取り入れて毎月1回以上行っています。

・子育て及び子育て支援に関する講習等を実施しました。

・リズム交流、ベビーマッサージ、公民館での出前子育てサロン、敬老の日やクリスマスのプレゼント作り、地域の公園での親子交流の実施を行いました。

子育て支援センター親子利用者状況　　単位：人

保育園名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
宮平保育所	53	160	275	247	265	287	285	265	306	298	321	320	3,082
津嘉山保育園	112	116	184	273	292	262	373	317	378	336	317	381	3,341
かねぐすく保育園	121	147	151	368	248	188	312	230	227	227	216	189	2,624
よなは第2保育園	50	132	101	111	143	175	246	183	290	165	286	165	2,047
合　計	233	263	335	641	540	450	685	547	605	563	533	570	5,965

事業の成果

実施する保育園に対し、補助金を助成することにより、子育て家庭等に対する育児不安などの相談及び指導、子育てサークル等への支援並びに地域の保育需要に応じ、地域の各保育所間の連携を図りながら子育て家庭への支援を図ることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	27,762	27,140	9,046	9,046			9,048

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	児童手当事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	民生費	03
連絡先	889－7028		項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	児童福祉総務費	01

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
18歳到達後最初の3月31日までの間にある児童（高校生世代までの児童）を養育している方に支給されます。	家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的としています。

事業の実施内容

1．児童手当の種類などについて

児童手当について、支給対象は、18歳到達後最初の3月31日までの間にある児童(高校生年代の児童)を養育している方で、支給額は月額で3歳未満の児童は15，000円（※第3子以降は30，000円）と、3歳以上高校世代の児童は10，000円（※第3子以降は30，000円）となっています。
※「第3子以降」とは、22歳到達後（※旧制度は18歳）最初の3月31日までの養育している児童のうち、3番目以降をいいます。



2．児童手当の支給状況　　◆扶助費決算額　1,410,610千円

区分		手当月額(円)	基礎となる延児童数(人)	支給額(円)
児童手当	0歳～3歳未満	15,000	9,158	1,410,570,000
		30,000	3,654	
	3歳～中学校修了前	10,000	50,375	
		30,000	15,912	
	高校生世代	10,000	13,429	
		30,000	1,606	
		小計	94,134	
※児童手当旧制度分	3歳～小学校修了前	10,000	4	40,000
		合　計	94,138	1,410,610,000

◆報酬　877　千円
◆職員手当等・旅費　251　千円
◆需用費　53　千円
◆役務費　555　千円
◆償還金　160　千円

※ 令和6年度10月分からは制度改正に伴い対象が高校生世代までに拡大したこと、及び所得上限限度額が撤廃されました。



事業の成果

子育てや生活支援のために手当を支給することにより、家庭生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することに繋がりました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,413,758	1,412,506	1,145,507	131,786			135,213

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認定こども園事業・補助	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	民生費	03
連絡先	889－7028		項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでつくる福祉と健康のまち		目	保育所運営事業	02

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
認定こども園（施設、在園児、保護者）	小学校就学前の児童を受け入れ、幼児教育・保育を一体的に行います。

事業の実施内容

1．入所児童数(令和8年3月1日現在)　※町内在住者のみ　単位：人

施設名			2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
開邦幼稚園		1号認定	1	2	3	4	9
		2･3号認定	6	16	16	14	52
町内施設　計			7	18	19	18	61
1号認定	光の子幼稚園		0	0	1	1	2
	長嶺こども園		0	0	0	1	1
	ナザレ幼稚園		0	0	1	1	2
	聖マタイ幼稚園		0	2	1	1	4
	ゴスペル幼稚園		0	0	0	1	1
	童夢認定こども園		0	1	1	0	2
	夢の園こども園		0	0	1	0	1
	つなぐ認定こども園		0	0	0	1	1
	しゅりの泉こども園		0	1	0	0	1
	善隣幼稚園		1	1	0	1	3
	津山幼稚園		1	0	0	1	2
	豊見城こども園		1	2	0	0	3
	あおぞらこども園		0	1	1	1	3
	第2愛心こども園		0	2	0	0	2
	わかめこども園		0	0	1	0	1
	あおぞら第2こども園		1	0	0	0	1
	浜田ハピネス認定こども園		1	0	0	1	2
	松の実こども園		0	0	0	1	1
	上間さつき認定こども園		0	0	0	1	1
2･3号認定	光洋こども園		0	0	1	0	1
	認定こども園森川保育園		0	0	0	1	1
	オレンジこども園		0	0	1	0	1
	津山幼稚園		0	1	0	0	1
	かぐらこども園		0	0	1	0	1
	こひつじこども園		0	1	1	0	2
	高良こども園		0	0	0	1	1
	西原南こども園		0	0	0	1	1
広域入所　計			5	12	11	15	43
合計			12	30	30	33	104

○認定こども園とは教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設です。令和元年度より町認可施設として1園が運営を行っています。

2．運営費支弁額(令和7年度実績)　単位：円

施設名	運営費
開邦幼稚園（1号）	7,179,620
開邦幼稚園（2.3号）	51,389,600
町内認定こども園運営費（小計）	58,569,220
広域入所（1号）	53,166,360
広域入所（2.3号）	6,411,230
町外認定こども園運営費（小計）	59,577,590
合計	118,146,810

事業の成果

認定こども園においては幼児教育・保育を一体的に取り組むことができ、また、保育の必要理由の有無に関わらず子どもを受け入れることにより、集団活動や異年齢交流も確保できました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	118,260	118,147	49,590	32,643			35,914

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	物価高対応子育て応援手当事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	民生費	03
連絡先	889－7028		項	児童福祉費	02
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	児童福祉総務費	01

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	下記の児童手当受給者など ・令和7年9月分の児童手当の支給対象児童 ・令和7年10月1日から令和8年3月31日までに出生した児童	物価高の影響が長期化し、その影響が様々な人々に及ぶ中、特に、その影響を強く受けている子育て世帯を力強く支援し、本町のこどもたちの健やかな成長を応援する観点から支給することを目的とします。

事業の実施内容

主な経費

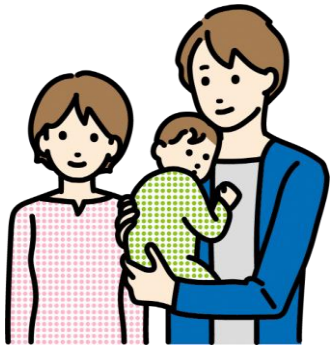
・ 報　酬･･･会計年度任用職員の給与	188,273 千円 357 千円
・ 共済費･･･〃の社会保険料	52 千円
・ 旅　費･･･〃の通勤手当	8 千円
・ 需用費･･･消耗品費など	216 千円
・ 役務費･･･郵送代など	2,208 千円
・ 委託料･･･システム改修費など	1,386 千円
・ 物価高対応子育て応援手当	183,940 千円
・ 職員手当等	106 千円

主な事業内容

・ 対象児童一人につき2万円を1回限り支給します。

▼物価高対応子育て応援手当の実績額

振込日	対象児童件数(件)	手当額(円)
R8.3.4	7,932	158,640,000
R8.3.9	449	8,980,000
R8.3.16	443	8,860,000
R8.3.23	373	7,460,000
合計	9,197	183,940,000



※予算額210,403千円の内、22,128千円は令和8年度へ繰越

事業の成果

物価高の影響が長期化し、その影響を強く受けている子育て世帯に対して、物価高対応子育て応援手当を速やかに支給し、経済的な負担軽減を図りました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	210,403	188,273	208,901				△ 20,628

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	妊婦のための支援給付事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　こども課		款	衛生費	04
連絡先	889-4524		項	保健衛生費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	保健衛生総務費	01

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	1回目…妊婦1人あたり5万円給付 2回目…胎児(乳児)1人あたり5万円給付	全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるよう、妊娠や出生の届出を行った妊婦・子育て世帯等に対し、現金給付を行います。

事業の実施内容

●対象
　申請日時点で南風原町に住所を有し、妊娠届出時の面談(1回目)・出生後の面談(2回目)を行った妊婦もしくは胎児及び乳児の保護者が対象となります。

1回目…妊婦1人あたり5万円給付
2回目…胎児(乳児)1人あたり5万円給付

主な経費

妊婦のための支援給付金	46,900	千円
会計年度任用職員報酬	8,222	千円
その他の経費	4,327	千円
合計	59,449	千円

＜令和7年度＞

1回目		2回目	
給付人数	421人	給付人数	517人
給付金額	21,050千円	給付金額	25,850千円

事業の成果

妊娠期から出産・子育てまで一貫して身近で相談に応じ、様々なニーズに即した必要な支援につなぐ妊婦等包括相談支援の充実を図るとともに、妊娠の届出や出生の届出を行った妊婦・子育て世帯等に対し、出産育児関連用品の購入費助成や子育て支援サー ビスの利用負担軽減を図る妊婦のための支援給付金を一体的に実施 しました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	65,914	59,449	57,298	919	0	0	1,232

令和7年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	包括的支援事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　福祉課		款	民生費	03
連絡先	889-3534		項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者と家族	地域包括支援センターに、社会福祉士・主任ケアマネージャー・保健師等の専門職を配置し、高齢者の心身の健康の保持及び生活の安定のために包括的な支援をします。

事業の実施内容

1．地域包括支援センター　40,398千円

地域包括支援センターは介護・保健・福祉の専門職がチームとなって、高齢者及び家族からの相談や、高齢者の見守り、心身の状態に合わせた支援などを行う高齢者の総合的な相談支援の拠点です。

1）介護予防支援業務

①　令和7年度予防給付対象者（要支援1・2）　→　延べ2,914人

2）総合相談支援業務（困難事例含む）

内容	相談対応件数（電話・来所・訪問等）		
	R5	R6	R7
介護、他生活に関すること	3,284	3,489	3,932
介護保険に関すること	148	676	499
福祉制度・サービスに関すること	800	1,445	1,189
計	4,232	5,610	5,620

3）包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域ケア会議

福祉課題検討型地域ケア会議では、各専門職より、事例を持ち寄り事例検討を行いました。また、介護の日に合わせてイオン南風原にてパネル展を開催し、町社協や地域包括支援センターの事業等について周知、来場者への相談対応を行いました。

自立支援型のケア会議を行い、事例に対して理学療法士・管理栄養士等、多職種で自立支援に繋がる助言を行いました。（検討したプラン件数：22件、開催回数は12回）

②地域のケアマネージャーに対する支援

・沖縄県介護支援専門員南部支部の開催（定例会4回、10回（ZOOM含む）研修会（年/4回）
・支援困難な方への助言、同行訪問、関係機関調整、介護予防ケアマネジメントプランチェック

4）権利擁護業務

内　容	R5	R6	R7
高齢者虐待に関すること	873	786	1,092

成年後見制度に関すること　　町長申立：3件　　報酬助成：6件

主な経費　：人件費（社会福祉士等）　　29,888千円
介護予防支援事業プラン作成委託料　　6,547千円

2．在宅介護支援センター運営事業（地域型）　10,309千円

在宅介護支援センターは、高齢者が住みなれた町で安心して暮らしていけるように、介護・保健・福祉の相談などを行う身近な相談窓口です。各種福祉サービスが利用できるように、地域包括支援センターと連携をとりながら「介護の予防」と「生活の支援」に重点を置いて支援を行いました。

主な経費　：在宅介護支援センター運営事業委託料　　10,309千円

3．地域包括ケア推進協議会　28千円

地域包括支援センターの適切な運営に関する事項等や福祉事業の円滑な推進のため協議会を設置し、センターの事業評価を行いました。

主な経費　：地域包括ケア推進協議会委員謝礼金　　28千円

事業の成果

高齢者の様々な相談に関して、各関係機関と連絡調整し包括的に支援を実施しました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	52,168	50,735				50,735	0

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	生活支援体制整備事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　福祉課		款	民生費	03
連絡先	889－3534		項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	老人福祉費	02

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
町内在住の高齢者及び地域住民、民間企業、社会福祉法人等	生活支援・介護予防サービスの充実に向けて、地域住民、ボランティア、民間企業、社会福祉法人等、多様な主体が関わり、地域における支え合いの体制作りを推進します。生活支援の担い手の養成や地域資源の開発、ネットワーク化などを行います。

事業の実施内容

1）生活支援コーディネーター業務（町社会福祉協議会へ委託、2名、千尋会へ1名配置）

主な経費：生活支援コーディネーター委託料　　13,704千円

活動内容		件数 R5	R6	R7
資源開発	資源開発の情報収集	16	57	97
	地域への働きかけ	90	199	214
	関係機関への働きかけ	6	8	38
	生活支援の担い手・サービス開発	3	21	4
	計	115	285	353
ネットワーク構築	地域のネットワークづくり	330	441	630
	サービス提供主体間の連携体制づくり	34	42	14
	計	364	483	644
ニーズと取組みのマッチング	個別ニーズとサービスのマッチング	3	10	3
	社会資源の情報提供	50	56	42
	地域の支援ニーズとサービス提供主体の活動のマッチング	6	2	8
	計	59	68	53
その他	協議体に関すること	28	87	267
	ニーズ把握	50	80	69
	その他	118	323	410
	計	196	490	746
合　計		734	1326	1796

※令和6年度から2名→3名体制に増員

◯資源開発
・地域を回って資源の情報収集等
　地域の居場所作りのサポート等
◯ネットワーク構築
・地域のネットワーク作りに関すること等
　商工会との定期会議を実施し情報交換等
◯ニーズと取り組みのマッチング
・社会資源の情報提供等
◯協議体
第1回）地域と企業が地域づくりにおいて連携する重要性について学び、グループワークを通して課題の解決手段や意見交換を行いました。
第2回）誰もが気軽に立ち寄れる場所について、地域と企業ができることについて意見を出し合いました。
全体交流会も行うことで、企業同士、住民と企業の新たなネットワークができ、まちづくりの一歩につなげることができました。
◯お宝発表会
地域にあるつながりや支え合いをお宝として表彰し共有することで、日頃の活動に効果的な意味があることを認識し、継続するための意欲向上につなげることができました。



協議体の様子



協議体の様子



お宝発表会の様子

事業の成果

課題（担い手不足・高齢化・移動支援など）の解決に向けて資源収集を更に行い、関係者をつなぐマッチング支援を行っていきます。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
字単位の話し合いの場（協議体）にSCが4回以上関わり地域の支え合い、つながり、課題を発見する。	字の話合いの場として、福祉協力員連絡会、福祉懇談会に参加し（年60回以上）、地域と学童クラブとのマッチングやスマホ教室とのマッチングなどを行いました。 地域活動の周知や担い手不足等について課題があります。

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳 国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
14,566	13,704				13,704	0

令和7年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	家族介護支援事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　福祉課		款	民生費	03
連絡先	889-3534		項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	高齢者等を自宅で介護している家族	家族が介護技術や保健福祉制度、介護者自身の健康づくりについて学び、精神的・身体的負担の軽減を図ります。また、家族同士の交流や情報交換及びレクリエーション等を通して、介護疲れを癒し、心身のリフレッシュを図ります。

事業の実施内容

1）家族介護者等支援事業　　決算額　：　284千円

参加者

① ピクニック「よへなあじさい園～名護アグリパークランチ～名護ファーマーズマーケット」13人

② 介護教室１「もしもの時を考えよう～元気なときから”もしも”のときを考えよう」
講師：平田　真紀氏　　22人

③ 介護教室２「看護師がご自宅へ伺います！～体調やお薬の管理はお任せください～」
講師：城間　忍 氏　　19人

④ 介護教室３「介護予防運動について～健康体操で筋力維持を～！」
講師：砂川　厚 氏　　23人



⑤ 健康づくり教室＆日帰りゆんたくランチツアー　22人

2）老人福祉医療助成金支給事業　　決算額　：　3,478千円　　支給人数　：　131人
在宅や入院中の要介護高齢者に対し、健康保険等の保険外負担となっているオムツ代の助成をしました。

3）介護用品支給事業　　決算額　：　396千円　　支給人数　：　6人
在宅で高齢者を介護している家族に対し、介護用品を支給することで、家族の負担を軽減し、要介護者の在宅生活の継続と向上を図りました。

4）南風原町介護者の会（にじの会）補助金　　決算額　：　100千円
介護者間の連携を密にし、協力と助け合いでよりよい介護に繋げ、在宅で安心して介護ができることを目的に結成された「にじの会」へ補助金を交付することにより、家族介護者の介護負担や介護疲れを軽減し、要介護者の在宅生活の継続と福祉の向上に向けて支援しました。

5）通信運搬費　　決算額　：　51千円

事業の成果

日頃の介護負担や介護疲れを軽減し、心身のリフレッシュを図りました。また介護用品やオムツ代等の経費を一部負担することで経済的負担を軽減し、在宅介護の福祉向上が図れました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	4,730	4,309				4,309	0

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	認知症施策推進事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　福祉課		款	民生費	03
連絡先	889－3534		項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者と家族	認知症に関する相談や、必要な医療・サービスに繋がるよう支援を行います。認知症理解や地域での見守りを広げるための活動を行っていきます。

事業の実施内容

認知症地域支援推進員を配置し、個別訪問を中心に活動し、本人や家族に対して認知症に関する相談や、必要な医療・サービスに繋がるよう支援を行っています。
認知症の理解や地域での見守りを広げるため、認知症サポーター養成講座を開催しています。
また、認知症初期集中支援チームにて、早期に医療・サービスにつなぐ支援を実施しました。

■ 認知症地域支援推進員の主な仕事
(1)認知症の人やその家族を支援する相談業務
(2)医療機関や介護サービス地域の支援機関をつなぐコーディネーター
(3)認知症に関する理解・知識・制度等の住民への周知
(4)認知症サポーター養成講座の実施
(5)認知症に関する社会資源等の情報収集及び提供

①活動実績
対応件数（延べ人数）：1041件

②認知症サポーター養成講座
開催回数：5回



③認知症初期集中支援チーム
チーム員会議：12回

④認知症カフェ
開催回数：12回

主な経費　看護師嘱託員報酬等：　7,912千円
初期集中支援チーム報償費：　101千円
消耗品費等：　157千円



事業の成果

認知症本人・家族への個別相談を中心に活動しました。
認知症サポーター養成講座を町内小学校と各字、関係機関等、新しいキャラバンメイトと連携して医療機関内で実施できました。認知症カフェを月1回の12回定期的に開催、参加者も増加し、認知症に関する理解を拡めることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
・認知症カフェを毎月開催	認知症カフェを毎月1回、計12回開催し、認知症本人や家族、地域住民が気軽に集い、交流や情報交換を行う機会を提供しました。

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,319	8,170				8,170	0

令和7年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	介護予防事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　福祉課		款	民生費	03
連絡先	889-3534		項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	町内在住の高齢者	地域における65歳以上の高齢者ができる限り要介護状態に陥る事なく、健康でいきいきとした生活が送れるよう、介護予防事業の充実を図ります。

事業の実施内容

1．一般高齢介護予防通所事業（地域型）　13,870千円

地域の公民館を拠点に、地域ボランティアの協力のもと、健康チェックやレクリエーション等を通して生きがいと健康づくり、介護予防、交流の場の提供、社会参加の促進と社会的孤立感の解消等の支援をしました。

主な経費：一般高齢介護予防通所事業委託料　13,870千円
実施自治会等：19カ所
参加者数：（延べ人数）4,436人

2．食の自立支援サービス事業（配食サービス）　1,013千円

毎日の食事の確保が困難な高齢者に対し、栄養バランスのとれた食事の提供と定期的な訪問による安否確認を行い、健康維持と安全確保を図りながら、自立した生活を送れるよう支援しました。

主な経費：栄養改善事業委託料　　1,013千円
実利用者数：7人　　配食数：1,627食

3．高齢者水中運動教室　5,350千円

膝・腰などの関節に疾患がある方等を対象に、水中で浮力を使って効果的に運動することにより、身体機能を高めバランス能力を向上させ転倒予防を図りました。

主な経費：一般介護予防事業　水中運動教室委託料（一般・フォローアップクラス）　3,282千円
短期C介護予防・生活支援サービス事業　水中運動教室委託料（通年）　2,068千円
参加者数：一般クラス（実人数）14人、（延べ人数）169人
フォローアップクラス（実人数）18人、（延べ人数）523人
スイスイ運動教室（短期C）　（実人数）11人、（延べ人数）342人

4．運動機能向上事業　1,148千円

①一般介護予防事業（訪問型サービス事業）

リハビリテーション職の専門職が、要介護状態及び要支援状態になるおそれのある高齢者の居宅を訪問し、生活動作指導および運動指導を行い、要介護状態等になることを予防しました。



主な経費：講師謝礼金　316千円
利用者数：19人（実施回数：61回）

②一般介護予防事業（地区公民館）

自主活動に繋げることを条件として希望する地区へ、字公民館等にて、運動指導士等を派遣することにより運動習慣を身につけ、筋力柔軟性の向上を図ることで要介護状態となることを予防するための支援をしました。

主な経費：講師謝礼金　760千円
実施場所：山川集落センター・与那覇公民館・宮城構造改善センター、
兼平自治会集会所、第2団地集会所
参加人数：参加人数（実人数）85人、（延べ人数）1,526人、実施回数 152回

③ノルディックウォーキング教室講師謝礼金

膝の関節・脊柱への負担を軽減し、下半身だけではなく、腕や上半身の筋肉など全身を使うエクササイズで介護予防の取り組みを図りました。

主な経費：講師謝礼金　　72千円
参加人数：（実人数7人、延べ人数37人）実施回数：8回

次ページへつづく →

事業の実施内容

5. リハビリテーション専門職派遣事業　654千円
　地域における介護予防の取り組みを機能強化し、集団対応に加えて個別面談を実施。要介護状態になっても生きがい・役割を持って生活できる地域の実現を目指し、高齢者の自立支援に対する取り組みを図りました。

主な経費：　講師謝礼金　　654千円
実施場所：　ちむぐくる館、各字公民館・集会所（一般高齢介護予防通所事業(地域型)）
実施回数:60回

6. 操体事業　240千円

　地域における介護予防の取り組みを機能強化し、要介護状態になっても生きがい・役割を持って生活できる地域の実現を目指し、高齢者の自立支援に対する取り組みを図りました。

主な経費：　講師謝礼金　　240千円　　実施場所：　ちむぐくる館、津嘉山公民館
参加者数：　(実人数)39人、(延べ人数)663人

7. 運動機能向上事業　7,022千円
①一般介護予防事業　筋力トレーニング教室（一般・ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ）（通年）　2,798千円

　専門事業者による個々に合わせたプログラムで、自重負荷運動やマシントレーニング等活用した運動指導と介護予防に関する講話を行いました。

主な経費：　委託料　　2,798千円
参加者数：(実人数)50人、(延べ人数)572人

②介護予防・生活支援サービス事業筋力トレーニング教室（通年）　4,224千円

　専門事業者による個々に合わせたプログラムで、自重負荷運動やマシントレーニング等活用した運動指導と介護予防に関する講話を行いました。

主な経費：　委託料　　4,224千円
参加者数：ちゃーがんじゅう教室（短期C）　　(実人数)35人、(延べ人数)955人

8. 総合事業プラン作成委託料　3,010千円

　要支援1．2及び基本チェックリストにより生活機能の低下がみられた方に対し、総合事業によるサービス等が適切に提供できるようケアマネジメントしました。

主な経費：　総合事業プラン作成委託料　　3,010千円



9. その他
介護予防事業をスムーズに行うための経費
　介護予防事業看護師・理学療法士報酬　　9,941千円
　その他需用費・役務費・使用料等　353千円
　介護予防ニーズ調査委託料　　847千円

事業の成果

　介護予防・日常生活支援総合事業（介護予防・生活支援サービス及び一般介護予防事業）を実施し、高齢者（65歳以上）が要介護状態にならないための予防又は要介護状態の軽減若しくは悪化の防止を図ることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
48,364	43,448				43,448	0

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	介護保険運営事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　福祉課		款	民生費	03
連絡先	889-3534		項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	介護保険事業費	09

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	介護保険第1号被保険者（65歳以上）及び第2号被保険者（40歳～64歳）	沖縄県介護保険広域連合へ負担金を支出し、介護保険事業の安定的な運営を図ります。

事業の実施内容

1．令和7年度沖縄県介護保険広域連合への負担金　454,577千円

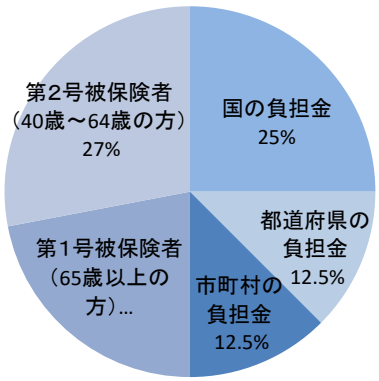
沖縄県介護保険広域連合負担金内訳　　単位：円

会計区分	事業項目	負担金額
一般会計	共通経費	48,467,733
	介護認定に関する経費	22,922,936
	国・県補助事業に関する経費	9,123,595
	令和6年度決算に伴う負担金	11,351,983
一般会計に要する経費小計		91,866,247
特別会計	介護給付に要する経費	326,606,788
	地域支援事業に関する経費	27,979,797
特別会計に要する経費小計		354,586,585
介護保険広域連合負担金合計		446,452,832

2．その他の経費
　イ、介護保険窓口業務会計年度任用職員報酬等　　8,036千円
　ロ、消耗品費、通信運搬費　　88千円

【 介護保険制度の財源内訳 】

全体（100%）
- 公費（50%）
  - 国の負担金 ・・・・・・・・（25%）
  - 都道府県の負担金 ・・（12.5%）
  - 市町村の負担金 ・・・・（12.5%）
- 保険料（50%）
  - 第1号被保険者 ・・・・・（23%）（65歳以上の方）
  - 第2号被保険者 ・・・・・（27%）（40歳～64歳の方）



事業の成果

介護給付・予防給付費に要する費用の一部を負担金として沖縄県介護保険広域連合に支出しています。構成する29市町村の介護保険業務を広域的に運営し、保険料やサービスの適正化等を図っています。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
―	―

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	455,018	454,577					454,577

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	高齢者地域支援体制整備・評価事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　福祉課		款	民生費	03
連絡先	889-3534		項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	老人福祉費	02

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送れるよう、各種サービスを提供し、高齢者の自立と社会参加を図ります。

事業の実施内容

1）ふれあいコールサービス事業　　委託料 ： 456千円

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯に対し、定期的に電話をかけることで、健康状態や安否の確認及び心のふれあいを図りました。

利用者実人数 ：　9人　利用者延べ人数 ：　108人

2）外出支援サービス事業　　委託料 ： 4，851千円

公共交通機関を利用することが困難な高齢者について、リフト付き車輌により医療機関への送迎を行いました。また歩行に不安があるため、高齢者サロンや一般高齢者介護予防通所事業等への参加が困難な高齢者に対しても、送迎を行いました。

【通院送迎実績】　利用者数 ： 88人　　利用回数 ： 160回

【ミニデイ・サロン活動送迎費用】　利用者数 ： 920人　　対応日数 ： 184日

3）軽度生活援助事業　　委託料 ： 679千円

日常生活上支援が必要な高齢者に対し、ホームヘルパーの派遣による家事援助等を行い、心身の健康保持と生活の安定を支援しました。

実人数 ：　6人　　延べ人数 ：　36人　　派遣時間 ：　317.5時間

4）高齢者外出支援タクシー利用料金助成事業　　1，577千円

70歳以上で非課税世帯の高齢者がタクシーを利用する場合に、経済的負担の軽減や日常生活の利便性向上を図るため、タクシー初乗り運賃相当額600円（1か月4枚まで）を助成しました。

利用者実人数 ：　83人

主な経費　システム保守委託料 ： 106千円　　タクシー協会委託料 ： 1，427千円
　　印刷製本費 ： 44千円

5）高齢者日常生活用具給付等事業　　扶助費 ： 200千円

高齢者の自立支援や介護予防を促進する事を目的に、日常生活用具の給付を行いました。

利用者実人数 ：　4人　給付内容 ： 歩行支援用具（手すり）

事業の成果

高齢者が安心した生活が送れるように、在宅生活を支えるサービスを提供し、自立した生活の支援および社会参加を図りました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,631	7,763					7,763

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	重度心身障害者医療費助成事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　福祉課		款	民生費	03
連絡先	098-889-4416		項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	心身障害者福祉費	03

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
心身に重度の障害のある障がい者（児）に対し、医療費の一部を助成します。	医療費の一部を助成することによって保健の向上に寄与し、もって重度心身障がい者（児）の福祉の増進を図ることを目的とします。

事業の実施内容

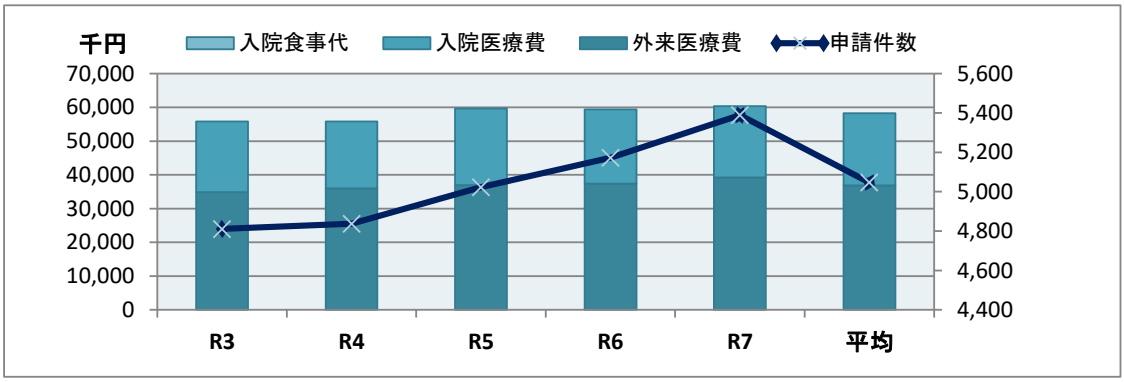
1 印刷製本費　14千円
2 委託料　493千円
3 扶助費　60,389千円

重度心身障がい者（児）医療費助成受給資格者に対し、保険適用診療分の医療費の自己負担額を助成しました。（所得制限があります）

＜受給対象者（障害程度）＞
- 身体障害者手帳1級または2級
- 療育手帳A1またはA2
- 身体障害者手帳3級かつ療育手帳B1
- 療育手帳B1かつ障害基礎年金1級受給
- 療育手帳B1かつ特別児童扶養手当1級受給

◆ 医療費助成の内訳
対象者数・・・749名　　申請件数（延べ）・・・5,389件（月平均449件）
助成額（総額）・・・60,389,224円　うち外来医療費・・・39,191,222円
うち入院医療費・・・21,198,002円
※入院食事代はR2年4月診療分以降廃止

◆ 医療費助成額の推移



（単位：円）

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	平均
申請件数	4,811	4,837	5,023	5,172	5,389	5,046
外来医療費	34,873,866	36,031,140	36,908,991	37,370,257	39,191,222	36,875,095
入院医療費	20,937,357	19,797,829	22,699,159	22,058,568	21,198,002	21,338,183
入院食事代	0	0	0	0	0	0
合計	55,811,223	55,828,969	59,608,150	59,428,825	60,389,224	58,213,278

事業の成果

重度心身障がい者（児）の医療費負担軽減を図り、健康増進及び福祉の向上を図ることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
―	―

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
60,921	60,896		30,034			30,862

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	自立支援医療費（更生・育成医療・療養介護）事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　福祉課		款	民生費	03
連絡先	098-889－4416		項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	心身障害者福祉費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	【更生医療】18歳以上の身体障害者手帳を有する者 【育成医療】18歳未満の特定の障害を有する児童または、現存する疾患を放置すると将来においてこれらの障害を残すと認められる児童	身体の障害またはその原因となる疾患を除去・軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できる医療に対して、自己負担額を軽減することにより適切な医療受診及び自立支援を図ります。

事業の実施内容

◎更生医療とは

更生医療は疾病、事故、災害等による身体的損傷が、一般医療によってすでに治癒（欠損治癒や変形治癒等の不完全治癒）した身体障がい者に対し、日常生活能力、社会生活能力または職業能力を回復または向上、もしくは獲得（更生）させることを目的として行うものです。

・更生医療給付費　49,519 千円　　・更生医療審査事務委託料　68 千円

更生医療費給付実績　　単位：円

	給付件数	医療費総額	保険負担	自己負担	公費負担
心臓	25	52,867,530	48,582,492	92,749	4,192,289
じん臓	258	429,122,368	384,895,883	4,402,110	39,824,375
音声・言語等	0	60,460	42,322	6,046	12,092
その他	35	27,391,680	21,647,591	254,145	5,489,944
合　計	318	509,442,038	455,168,288	4,755,050	49,518,700

・償還金　　5,487 千円

◎育成医療とは

育成医療とは身体上の障害を有する児童又は現存する疾患を放置した場合、将来において障害を残すと認められる児童に対し、健全な育成を図ることや生活の能力を得るために必要な医療のことです。

・育成医療給付費　1,209 千円　　・育成医療審査・判定事務委託料　42 千円

育成医療費給付実績　　単位：円

	給付件数	医療費総額	保険負担	自己負担	公費負担
心臓	0	0	0	0	0
じん臓	0	0	0	0	0
肢体不自由	6	17,759,750	17,032,787	38,799	688,164
音声・言語等	9	2,652,040	2,227,668	78,500	345,872
聴覚・平衡機能	2	740,460	649,535	6,732	84,193
その他	2	2,296,620	2,195,540	10,360	90,720
合　計	19	23,448,870	22,105,530	134,391	1,208,949

※自立支援医療（更生・育成）の対象施術
・心臓手術（冠動脈バイパス術、ペースメーカー埋込術、ステント留置術など）
・人工透析・腎臓移植手術など　　・唇顎口蓋裂にかかる手術や歯科矯正

◎療養介護とは

医療を必要とするとともに、常時介護を必要とすると認められた障がい者（児）に対して、病院や施設等で機能訓練、療養上の管理、看護を行う医療費のことです。

・療養介護医療費　7,573 千円　　・療養介護医療審査事務委託料　5 千円

事業の成果

更生医療・育成医療、それぞれにおいての必要な医療を、各医療機関及び県判定機関との連携を図りながら実施することで自立支援を行うことができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
－	－

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	71,894	63,903	33,126	16,515			14,262

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	市町村地域生活支援事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　福祉課		款	民生費	03
連絡先	098－889－4416		項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	心身障害者福祉費	03

事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	地域で生活する障がい者及び障がい児を対象としています。	障がい者（児）が自立した日常・社会生活を営むことができるよう、南風原町の特性や障がい者（児）のニーズに応じた事業を実施していきます。

事業の実施内容

1．相談支援事業

・障がい者相談支援　　20,520 千円

地域の障がい者（児）の福祉に関するいろいろ問題について、障がい者本人や家族等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言等を行う為の事業を町社協へ委託し実施しました。（R7延べ相談件数：5316件）

・基幹相談支援センター　　7,897 千円

相談支援体制の強化・困難事例や相談支援専門員への助言・相談支援員の人材育成・地域移行及び定着支援事業の促進・関係機関ネットワークの構築・権利擁護及び虐待防止体制の支援・自立支援協議会運営体制の支援等に取り組みました。

相談内容としては、精神障がいの方からの相談が最も多く、「福祉サービス利用に関する支援」や「家計・経済に関する支援」、「人間関係に関する支援」、「権利擁護に関する支援」が支援内容の大半を占めます。

	R5	R6	R7	平均
支援者数	174	160	197	177
支援件数	1971	2304	2,559	2,278

2．意思疎通支援事業

・設置手話通訳者報酬等　4,051 千円
・手話・要約筆記奉仕員派遣謝礼金　834 千円
・手話奉仕員派遣事業委託料　384 千円
・通信運搬費（手話通訳タブレット等　236 千円
・頸肩腕症検診料　8 千円
・手話奉仕員養成事業委託料等　540 千円

意思疎通を図ることに支障のある聴覚障がい者の支援を目的に、手話通訳者を設置し庁舎内での手話通訳や、要望に応じて通院、学校行事（三者面談、家庭訪問など）への派遣、団体主催の講演会や職場会議などでの手話通訳及び要約筆記（斡旋含む）のコーディネートを行っており、令和7年度は321件の通訳依頼がありました。また、時間外や緊急時への手話通訳派遣対応として沖縄県聴覚障害者協会に委託しました。

3．子ども発達支援事業

・子ども発達支援事業委託費　3,951 千円
（親子通園事業　ペアレントプログラム）
・謝礼金（ペアレント・プログラム託児）　31 千円

子どもの発達が気になる段階から保護者や支援者等に対して子の健やかな発達支援を図るための支援を各種事業を通して行いました。
□親子通園事業　親子で通園し、小集団による療育を行う事業（R7実績 8組48回）
□ペアレントプログラム　子どもの良いところを見つけ”ほめるコツ”を学び子育てが楽しくなる講座（R7実績　前期：4人　後期：8人）

4．自立支援協議会

令和7年度の自立支援協議会では、「就労選択支援の本町の取扱い」や「障がい者の金銭トラブル及び詐欺被害防止に向けた取り組み」に関して議論を行いました。

また、新たに専門部会（就労部会）を設置し、勉強会の開催や共同販売会等を実施しました。

・協議会委員謝礼金　64 千円

相談支援事業をはじめとする地域の障がい福祉に関する体制づくりに関し、中核的な役割を果たす「南風原町障がい者自立支援協議会」を開催しました。

5．声の広報等発行事業　416 千円

ボランティアの方が、毎月町広報と社協だよりをCD等に録音し、視覚障がい者を対象に配布する事業を町社協に委託し実施しました。令和6年度の利用者は約16人でした。

6．社会参加促進事業　200 千円

障がい者・障がい児が個々の能力や適性に応じて自立した日常生活を営む事ができるようにスポーツ教室を開催しさまざまな運動を行いました。

次ページへつづく →

事業の実施内容

7. 福祉機器リサイクル事業　216 千円

福祉機器の有効利用を図るため、不用になった福祉機器を回収し必要とされる方へ貸し出す事業です。町では社会福祉協議会へ業務を委託しています。令和7年度は、車イス、電動ベッド、ポータブルトイレ、シャワーチェア、歩行器等において58件の利用がありました。

8. 地域活動支援センター事業　5,000 千円

障がい者の居場所づくりや地域活動の支援のために、創作活動や生産活動を行う基礎的事業を「てるしのワークセンター」に委託し実施しました。

10. 日常生活用具給付事業　9,137 千円

障がい者(児)の日常生活の便宜をはかるため、日常生活用具の給付をおこなっています。令和7年度は701件の用具給付実績がありました。

主な用具	上下肢・体幹障害	歩行補助杖、入浴補助用具、特殊寝台など
	視覚障害	点字ディスプレイ、盲人用時計、音声体温計、電磁調理器など
	聴覚障害	聴覚障害者用屋内信号装置など
	内部障害	ストマ用装具、電気式たん吸引器、ネブライザーなど
	知的障害	頭部保護帽など

11. 移動支援事業　4,146 千円

屋外での移動が困難な障がい者(児)への余暇活動などの社会参加促進のため、外出時の移動の支援を行いました。

12. 日中一時支援事業　1,530 千円

障がい者(児)が充実した生活をおくれるよう、また日常的に障がい者(児)を介護している家族の一時的な休息(レスパイト)を図るため、障がい者(児)の日中における活動の場を提供する事業を行いました。

13. 重度障がい者等就労支援特別事業　2,064 千円

重度障がい者等(重度訪問介護、同行援護、行動援護を利用する者)が就労するにあたり必要な身体介護等の支援を行いました。

14. 地域活動支援事業支払委託料　17 千円

15. 障害程度区分認定調査等事業

障がい者の介護の必要度を認定する為の調査及び認定審査会での審査を行いました。

・区分認定調査員報酬等(介護福祉:　7,439 千円
・主治医意見書作成手数料　561 千円

16. 成年後見制度利用支援事業費　830 千円

17. 障害者週間にかかる啓発事業　8 千円

18. 障がい者虐待防止対策支援事業　8 千円

19. 償還金　3,340 千円

20.その他(需用費、補助金等)　146 千円

事業の成果

地域生活支援事業で行う各種事業を通じて、障がい者(児)が自立した日常生活・社会生活が営むことができるよう事業推進に取り組みました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
・親子通園事業利用者数:10組 ・ペアレントプログラム参加者数:12人 ・地域活動支援センター利用者数(延べ):1,200人 ・レクリエーション活動支援事業(Mixスポーツ)参加者数(延べ):120人	・親子通園事業利用者数:8組 ・ペアレントプログラム参加者数:12人 ・地域活動支援センター利用者数(延べ):2,448人 ・レクリエーション活動支援事業(Mixスポーツ)参加者数(延べ):111人

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	79,599	73,574	9,669	4,964	0	0	58,941

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位：千円

事業名	介護給付・訓練等給付事業	予算科目	会計	一般会計	1
部　課	民生部　福祉課		款	民生費	3
連絡先	889－4416		項	社会福祉費	1
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	心身障害者福祉費	3

事業の目的

対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
○身体に障がいのある方 ○知的障がいのある方 ○精神障がい（発達障害を含む）のある方 ○難病等の方（対象疾患に該当する方） ※すべて児童を含む	障がい児（者）が特性に応じた日常生活等を営むことができるように、個々に即したサービスの支給を行い、福祉の増進を図ります。また、障がいの有無にかかわらず、地域住民が尊重し合い、安心して暮らせる地域社会の実現に寄与します。

事業の実施内容

1. 自立支援給付費　　1,335,519 千円

内訳

サービスの種類	決算額（円）	延べ件数
居宅介護	71,157,182	1,287
重度訪問介護	36,395,200	133
行動援護	6,974,949	128
同行援護	38,743,633	413
療養介護	31,947,860	108
生活介護	306,599,616	1,394
短期入所	26,378,922	426
施設入所支援	125,497,116	731
共同生活援助（GH）	149,056,467	933
宿泊型自立訓練	3,420,080	30

サービスの種類	決算額（円）	延べ件数
自立生活援助	271,980	12
自立訓練（機能訓練）	0	0
自立訓練（生活訓練）	8,665,184	86
就労移行支援	24,307,981	152
就労継続支援（A型）	70,695,351	363
就労継続支援（B型）	405,622,220	2,737
就労定着支援	1,711,775	54
地域移行支援	0	0
計画相談支援給付費	27,770,780	1,640
高額障害福祉サービス費	303,030	31
合　計	1,335,519,326	10,658

2. 障害児通所給付費　　708,325 千円

内訳

サービスの種類	決算額（円）	延べ件数
児童発達支援	200,704,202	1,751
放課後等デイサービス	445,052,220	3,900
障害児相談支援給付費	23,530,680	1,343
高額障害児通所給付費	343,273	31
医療型児童発達支援	3,641,916	49
保育所等訪問支援	34,506,457	1,078
居宅訪問型児童発達支援	108,320	3

サービスの種類	決算額（円）	延べ件数
肢体不自由児通所医療費	422,029	49
やむを得ない事由による措置費	15,470	1
合　計	708,324,567	8,205

3. その他費用　内訳　　3,320 千円

自立支援給付費事務委託料	1,174,790
障害児通所給付費事務委託料	890,064
総合支援ソフト賃貸借料	712,800
国庫負担金償還金（システム改修）	532,000
国庫負担金償還金（医療費等）	10,282
合　計	3,319,936

4. 補装具給付費（購入・修理）　　7,889 千円

内訳

補装具の種類	購入		修理	
	決算額（円）	延べ件数	決算額（円）	延べ件数
義肢	0	0	0	0
装具	1,305,186	9	91,902	5
座位保持装置	368,336	3	620,683	4
盲人安全杖	19,191	3	0	0
義眼・眼鏡	251,369	5	0	0
補聴器	1,457,113	18	143,126	7
車椅子	1,817,561	6	487,251	7
電動車椅子	907,466	1	137,524	3
座位保持椅子	0	0	0	0
歩行器	274,320	1	0	0
歩行補助つえ	8,056	1	0	0
重度障害者用意思伝達装置	0	0	0	0
合　計	6,408,598	47	1,480,486	26

事業の成果

委託相談支援員（町社協CSW）、計画相談支援員、基幹相談支援員、その他関係機関及び地域等と連携し、障がい者（児）の状況に応じた福祉サービスの支給や補装具給付による支援を行うことで、自立生活の促進を図ることができました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
―	―

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,117,349	2,055,053	1,052,114	526,904	0	0	513,646

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	敬老月間啓発事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　福祉課		款	民生費	03
連絡先	889－3534		項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	老人福祉費	02

事業の目的

対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
町内在住の65歳以上高齢者	外出する機会が少ない高齢者でも場所を問わずに運動してもらうことで、フレイル(加齢により心身が衰える状態)予防を図ります。

事業の実施内容

Ⅰ. 事業概要

南風原町の高齢者が場所を問わずに元気でいきいきと運動でき、身体機能低下の改善を図る目的で、自宅参加型のイベントを開催しました。参加した方には抽選でお米券や、ツナ缶、サバ缶を景品として贈呈しました。

①事業内容

高齢者がご自宅等でできる運動をして、広報はえばる8月号又は同イベントチラシに掲載されているスタンプカードに運動した日にサインします。サインが30個たまると応募でき、抽選で景品を贈呈するものです。

②開催期間:8月１日～9月30日まで

③対象者:令和8年3月末時点で65歳以上で本町に在住の方

Ⅱ. 実施結果

①参加者数

本町在住65歳以上の方8,567名(令和8年3月末時点)のうち、650名を見込んでいましたが結果は478名で参加率は約5.6%でした。

(単位:名)

男性	女性	合計
184	294	478

(単位:名)

60代	70代	80代	90代以上	合計
78	257	118	25	478

主な経費

賞品代	689千円
印刷製本費	150千円
その他	58千円

令和7年度の贈呈式の様子





事業の成果

今回の企画に対する肯定的な意見・感想は約220件あり、「体調不良で運動する事をやめてましたが、この機会を通して、体を動かす事を少しずつですが始めています。」、「無理せず運動出来たのが良かった。」、「来年も企画して欲しい」などの意見が多数見られ、高齢者の運動機能向上に寄与できました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
参加者数:650人	実際の参加者数:478人

予算の執行状況

予算額	決算額	決算額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
950	897				897	0

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	高齢者慶祝記念品贈呈事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　福祉課		款	民生費	03
連絡先	889-3534		項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	老人福祉費	02

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	トーカチ、カジマヤー、新100歳の高齢者に記念品を贈呈します。	老人の日の前後に各対象者宅を訪問し長寿を祝います。

事業の実施内容

高齢者の長寿を祝い、多年にわたり社会に貢献した功績に感謝し、慶祝記念品を贈呈しました。

○慶祝記念品等　　941千円

	贈呈者数	記念品
トーカチ(88歳)	73人	台紙付き写真
カジマヤー(97歳)	27人	祝状
新100歳	8人	祝状



事業の成果

長年にわたり社会に貢献されてきた高齢者の皆さまへ感謝の意を表するとともに、敬老の意識を高めるため、慶祝記念品を贈呈しました。希望者には、町長による慶祝訪問を実施し、ご自宅等を訪問して記念品を直接お渡しするなど長寿をお祝いしました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
-	-

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,528	941					941

令和７年度主要施策の成果に関する報告書

単位:千円

事業名	高齢者向け物価高騰対応生活者支援事業	予算科目	会計	一般会計	01
部　課	民生部　福祉課		款	民生費	03
連絡先	889-3534		項	社会福祉費	01
目　標	ちむぐくるでともにつくる福祉と健康のまち		目	老人福祉費	02

事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	南風原町に住所を有する65歳以上の高齢者	物価高騰の影響を受けやすい高齢者に対し、経済的負担軽減を図り、生活の安定を支援するため、おこめ券を配布します。

事業の実施内容

○高齢者向け物価高騰対応生活者支援事業とは

食料品価格などの物価高騰の影響を受けやすい高齢者への生活支援として、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、全国共通おこめ券を1人あたり5枚(2,200円相当分)を配布します。

○対象

令和7年9月1日時点で南風原町に住所を有する65歳以上の高齢者(令和8年3月末までに65歳になる方を含む)が対象となります。

○主な経費

通信運搬費(ゆうパック)	3,969千円
おこめ券封入封緘委託料	446千円
高齢者生活支援給付金(おこめ券)	21,845千円
合　　計	26,260千円

おこめ券配布実績

単位:人, 枚, 円

区分	65歳以上対象者数(R7.9.1現在)			到達枚数			不達枚数						
	人数	枚数	金額	人数	枚数	金額	人数					枚数	金額
							返戻	死亡	転出	寄付	合計		
数量	8,738	43,690	21,845,000	8,646	43,230	21,615,000	62	19	9	2	92	460	230,000

事業の成果

物価高騰の影響を受けやすい高齢者世帯へ、生活支援として主食である米などの食の支援を通じて、経済的負担軽減を図りました。

『ハイさいよーさん』における成果目標	成果目標に対する実績
―	―

予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	26,410	26,260				26,030	230